

# 2018年6月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
2018年2月23日



1. 第2四半期 決算概要
2. 2018年6月期 見通し
3. 会社概要
4. 参考データ

---

# 1. 第2四半期 決算概要

# 第2四半期 ハイライト

## 業績

売上高	18,978百万円	(前年同期比 43.0%増)
営業利益	615百万円	(前年同期比430.1%増)
経常利益	831百万円	(前年同期比315.3%増)
当期純利益	594百万円	(前年同期比232.7%増)

## 主要TOPICS

- 鉄スクラップは期中平均価格が上昇（前年実績20,484円 当期実績30,495円）
- リサイクル資源の集荷・生産工程においては金属、スクラップ相場の上昇により収益増加
- 鉄スクラップの貿易取引は、相場変動を活用し収益増加
- 中古車・中古車部品等は、トラック、パーツの部門が好調で収益増加
- 新規事業（障がい者就労移行支援、木質系バイオマス燃料の輸入、デジタルサイネージ等）は、立上げ費用先行

# 第2四半期 連結損益計算書概要

	2017年6月期(上期)		2018年6月期(上期)			
	実績	構成比 (%)	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率 (%)
売上高	13,273	100.0%	<b>18,978</b>	100.0%	5,704	43.0%
営業利益	116	0.9%	<b>615</b>	3.2%	499	430.1%
経常利益	200	1.5%	<b>831</b>	4.4%	631	315.3%
税金等調整前 当期純利益	219	1.7%	<b>841</b>	4.4%	622	283.4%
当期純利益※	178	1.3%	<b>594</b>	3.1%	415	232.7%
E B I T D A ※	399	3.0%	<b>914</b>	4.8%	514	128.8%
限界利益	2,562	19.3%	<b>3,280</b>	17.3%	717	28.0%
純粹固定費※	2,409	18.2%	<b>2,602</b>	13.7%	192	8.0%

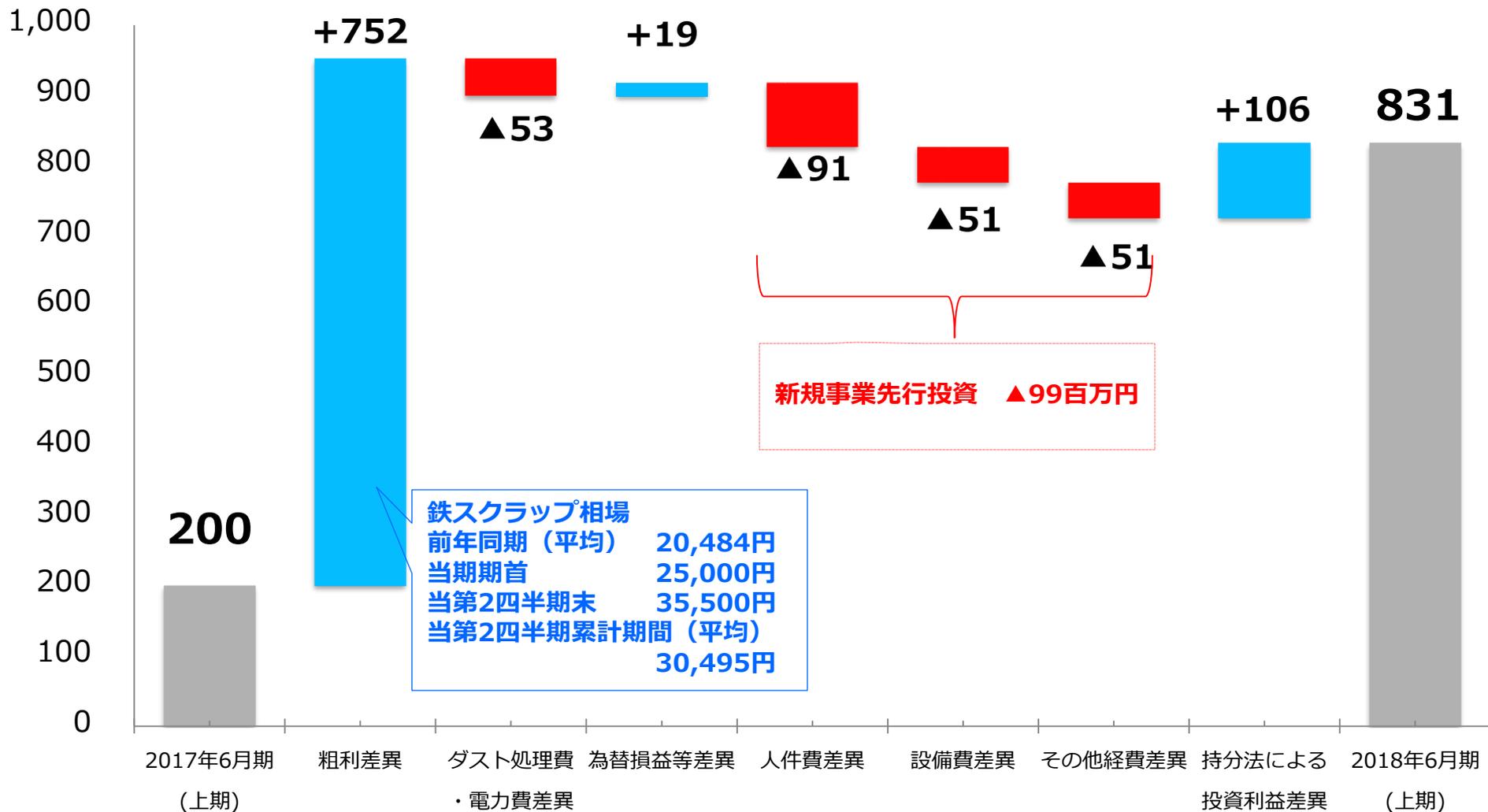
※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粹固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 経常利益差異分析

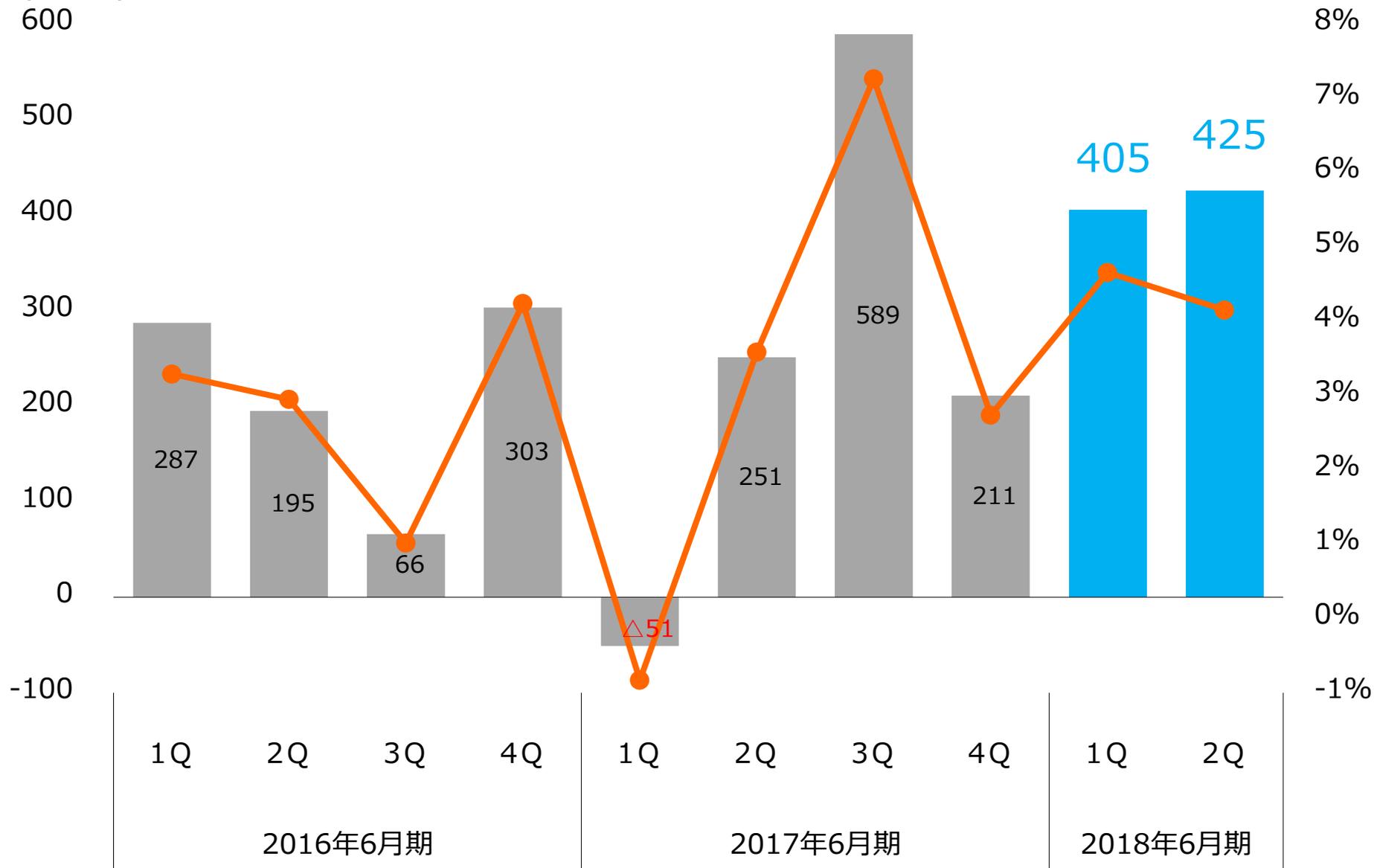
(百万円)



# 四半期經常利益推移

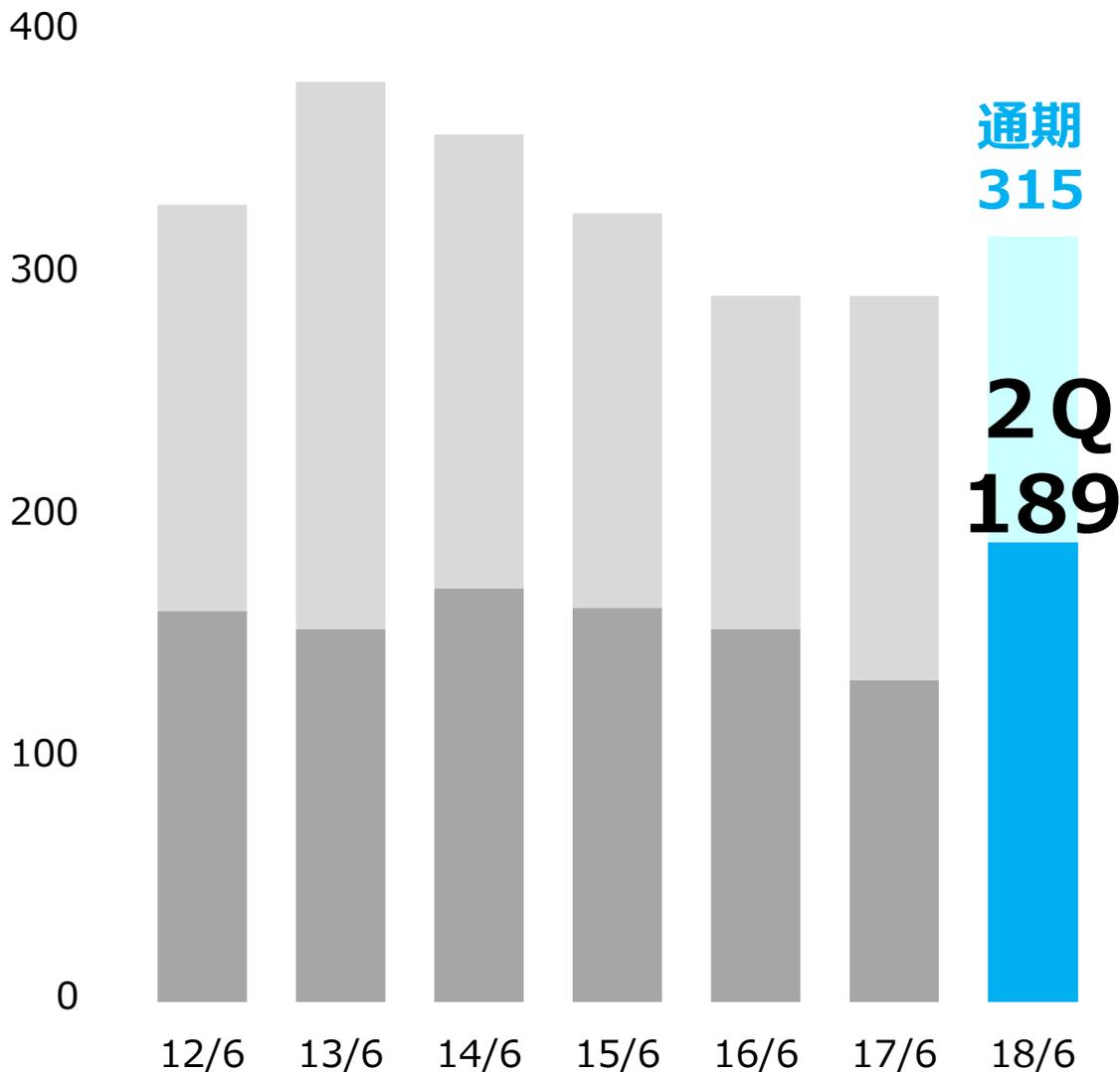


(百万円)



# 連結業績 売上高推移

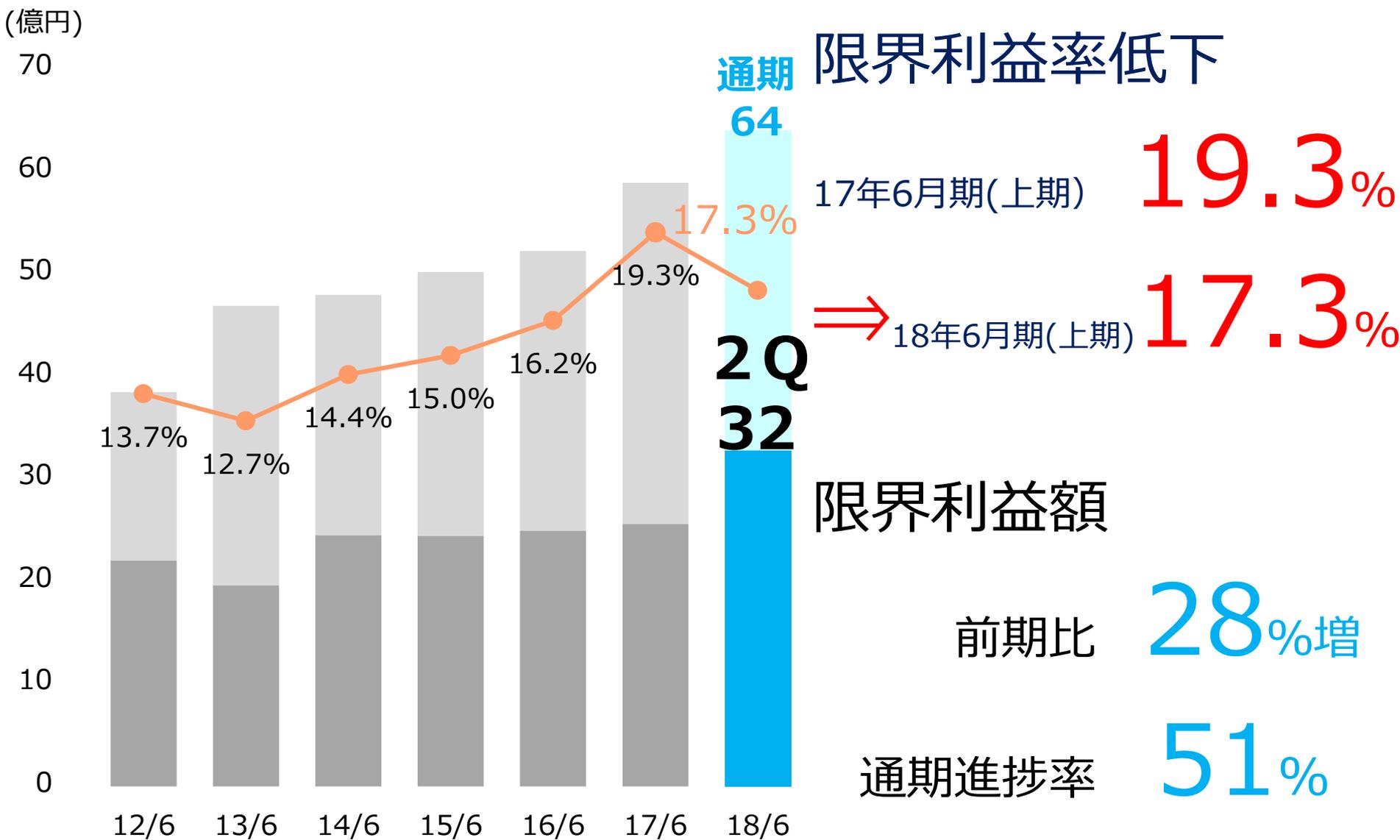
(億円)



## 資源相場の回復

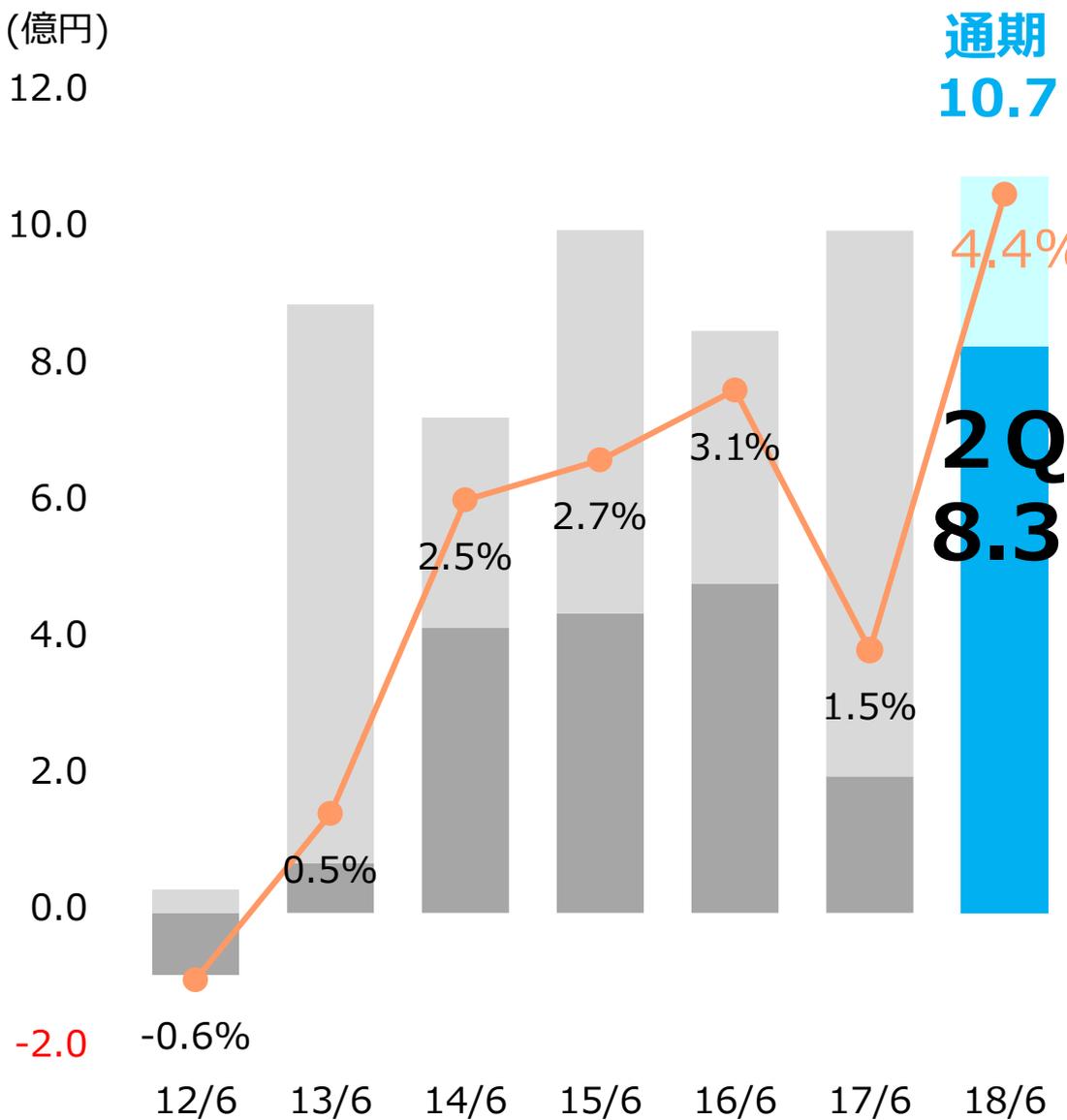


売上高  
前期比  
**43%増**  
通期進捗率  
**60%**



※限界利益率は第2四半期時点

# 連結業績 經常利益・率推移



## 經常利益率改善

17年6月期(上期) 1.5%

18年6月期(上期) 4.4%

## 經常利益通期進捗率

77%

※經常利益率は第2四半期時点

# 連結貸借対照表概要



(百万円)

	2017年 6月末	2017年 12月末	増減額		2017年 6月末	2017年 12月末	増減額
流動資産	8,108	9,731	1,622	流動負債	6,319	10,071	3,751
固定資産	9,777	12,164	2,386	固定負債	2,581	2,372	▲ 209
(有形固定資産)	5,030	5,179	148	負債合計	8,901	12,443	3,541
(無形固定資産)	141	122	▲ 19	純資産	8,985	9,452	467
(投資その他の資産)	4,605	6,862	2,257	(株主資本)	8,680	9,089	408
資産合計	17,886	21,896	4,009	負債純資産合計	17,886	21,896	4,009

## 主要TOPICS

- 現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加し流動資産が増加
- 太陽光発電所を開発する合同会社に対する匿名組合出資により投資その他の資産が増加
- 匿名組合出資用の投資資金を調達したため流動負債が増加

# 連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

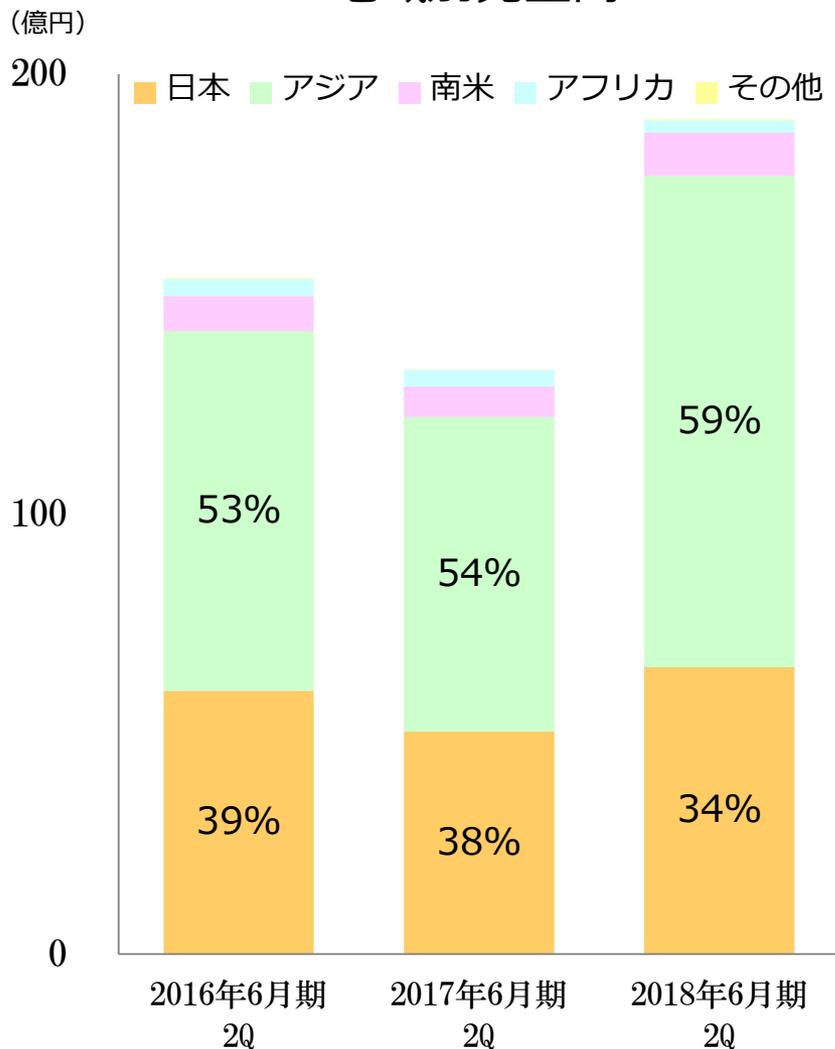
項目	2017年6月期 (上期)	2018年6月期 (上期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 164	51	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,148	▲ 2,358	▲ 210
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,318	3,109	790
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	1	▲ 25
現金及び現金同等物の増減額	32	803	771
現金及び現金同等物の期首残高	2,852	2,066	▲ 786
現金及び現金同等物の期末残高	2,884	2,869	▲ 15

## 主要TOPICS

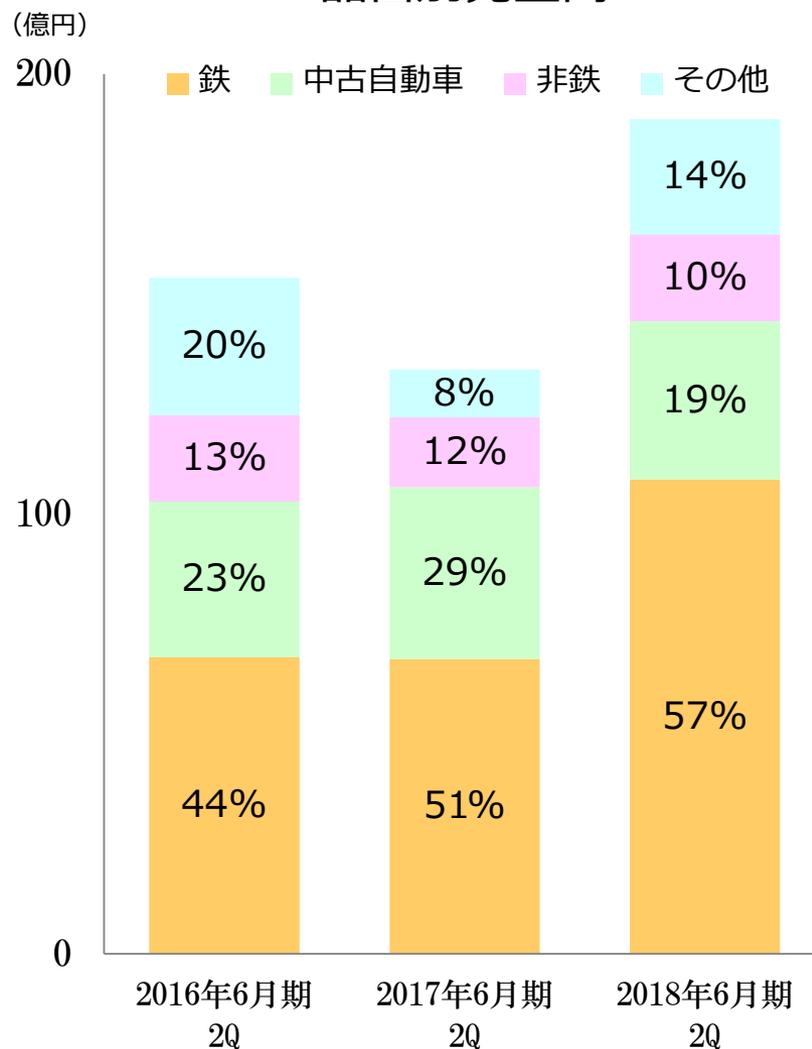
- 営業CF：(収入) 税金等調整前四半期純利益841百万円、減価償却費286百万円、仕入債務の増加112百万円  
(支出) 売上債権増加495百万円、たな卸資産増加339百万円、持分法投資利益増加152百万円
- 投資CF：(支出) 有形固定資産の取得434百万円、出資金の払込による支出2,079百万円
- 財務CF：(収入) 短期借入金の増加3,519百万円  
(支出) 長期借入金の返済187百万円、配当金194百万円

# 地域別売上高・品目別売上高

## 地域別売上高



## 品目別売上高



---

## 2. 2018年6月期 見通し

# 2018年6月期業績見通し（連結）



(百万円)

	2017年6月期			2018年6月期				
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期	上期 (実績)	下期 (計画)	通期	増減額	増減率 (%)
売上高	13,273	15,849	29,122	18,978	12,594	<b>31,573</b>	2,450	8.4%
営業利益	116	680	796	615	268	<b>884</b>	87	11.0%
経常利益	200	800	1,000	831	247	<b>1,078</b>	77	7.8%
税金等調整前 当期純利益	219	827	1,046	841	237	<b>1,078</b>	31	3.1%
当期純利益※	178	589	768	594	141	<b>736</b>	▲32	▲4.2%
E B I T D A	399	995	1,395	914	659	<b>1,574</b>	178	12.9%
限界利益	2,562	3,328	5,890	3,280	3,123	<b>6,404</b>	513	8.7%
純粋固定費	2,409	2,595	5,004	2,602	2,848	<b>5,450</b>	446	8.9%
ROE	—	—	9.2%	—	—	<b>8.2%</b>	▲1.0%	▲10.9%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 足元の事業環境と取り組み

## 事業環境

- 引き続き世界経済は緩やかながらも回復しつつも、足元の資源価格は軟調に推移し予断を許さない状況が続くことを想定
- 中国の雑品等の輸入規制で雑品、プラスチックの入荷増が予想される

## 取り組み

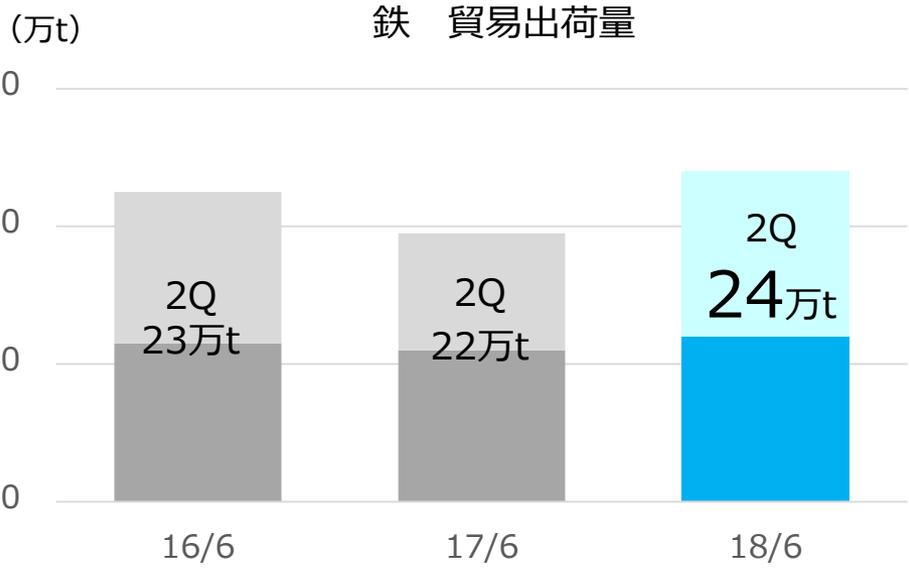
- 既存事業
  - 相場変動を活用して利益を出す(活相場)
  - 相場に左右されにくい事業分野を強化する(脱相場)
  - 取扱いアイテム、仕入先、販売先を増やして利益の源泉を多様化する
- 新規事業立上げによる新たな収益源を獲得する



既存事業の利益を、新規事業への投資に充て  
非連続の変化を乗り越えられる事業構造確立へ

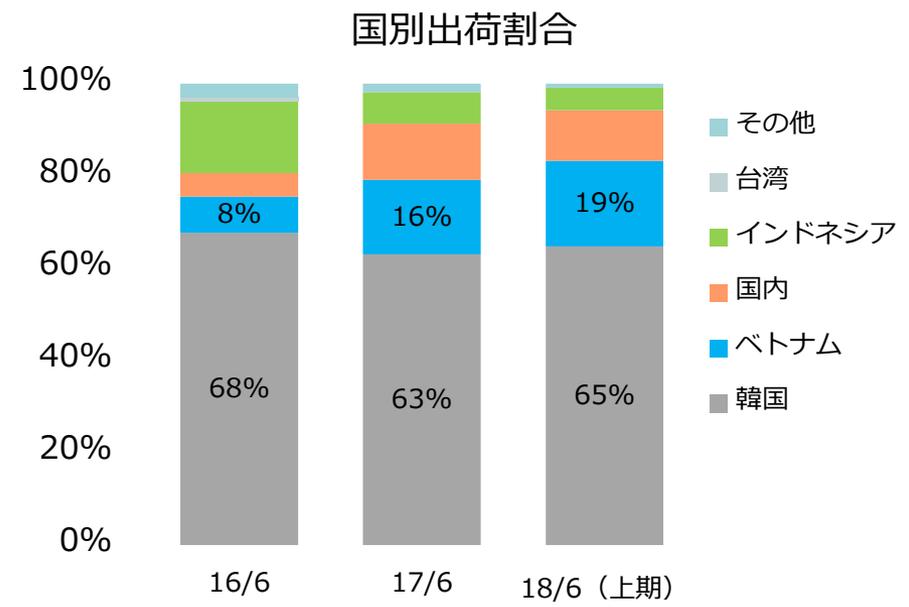
- ① リサイクル資源取引（貿易・国内）
- ② リユース商材貿易等の取引
- ③ 金銀滓回収事業の拡大
- ④ ASR再資源化事業
- ⑤ RPF・鉄鋼副資材製造販売
- ⑥ 動産撤去・処理サービス
- ⑦ 弾性舗装材市場拡大への取り組み
- ⑧ 太陽光発電所開発

# ①リサイクル資源取引（貿易）



## 市場環境に合わせた販売

- ベトナム向けのシェアを高める
- コンテナ船での販売を強化する



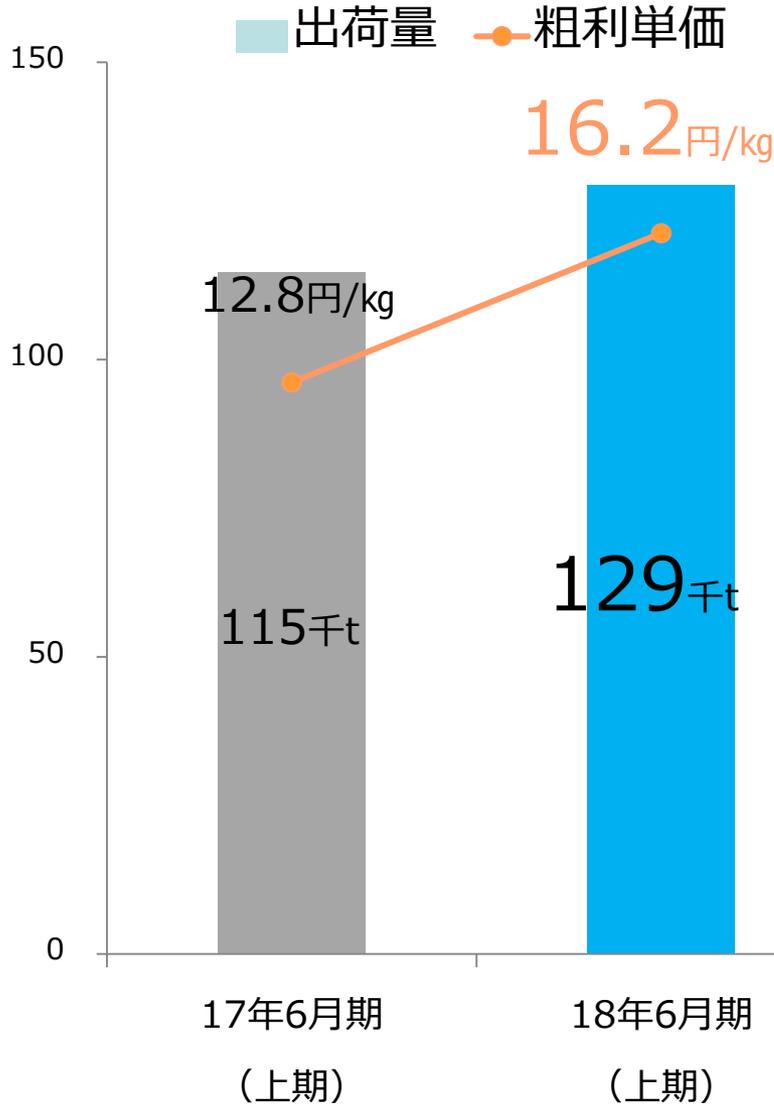
相場を活かした取引 **(活相場)**

上期出荷量 **14%増**

# ①リサイクル資源取引 (国内)

(千t)

(円/kg)



出荷量前期比 **13%増**

出荷量増加による粗利増加額

**1.8億円**

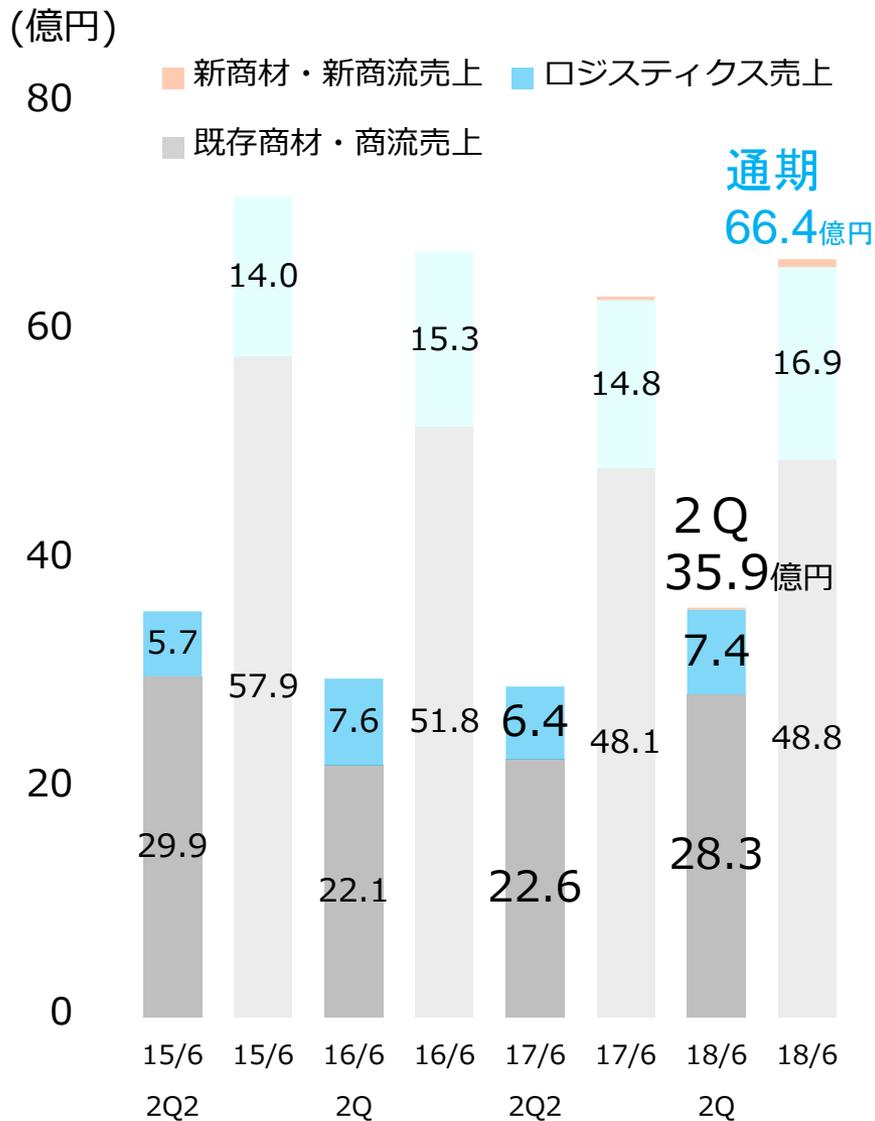
粗利単価前期比 **26%増**

単価増加による粗利増加額

**4.3億円**

【トピックス】  
 新サービスとして  
 土壌浄化事業開始

## ②リユース商材貿易等の取引



中古車登録台数減少等、国内市場縮小傾向

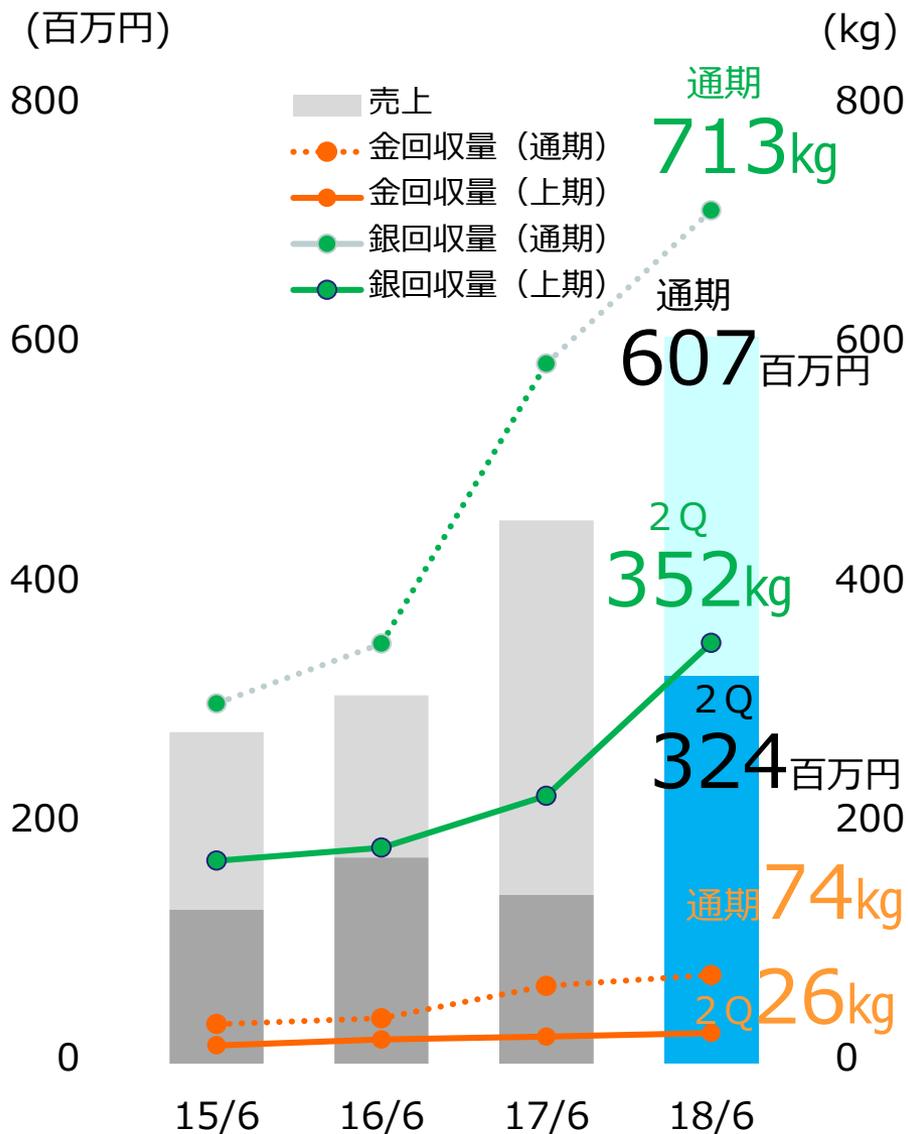
= 日本での商材確保について困難が予想される



新商材・新商流の開発を加速

2020年6月期  
新商材・新商流から  
売上6億円を目指す

# ③金銀滓(Au、Ag、Pt、Pd、Cu)回収事業の拡大



- ▶ 小型家電等破碎残渣からの金銀滓回収量増加
- ▶ 焼却残渣由来ミックスメタルからの金銀滓回収量増加
- ▶ 大手セメント会社との実証事業スタート(平成30年3月稼働予定)

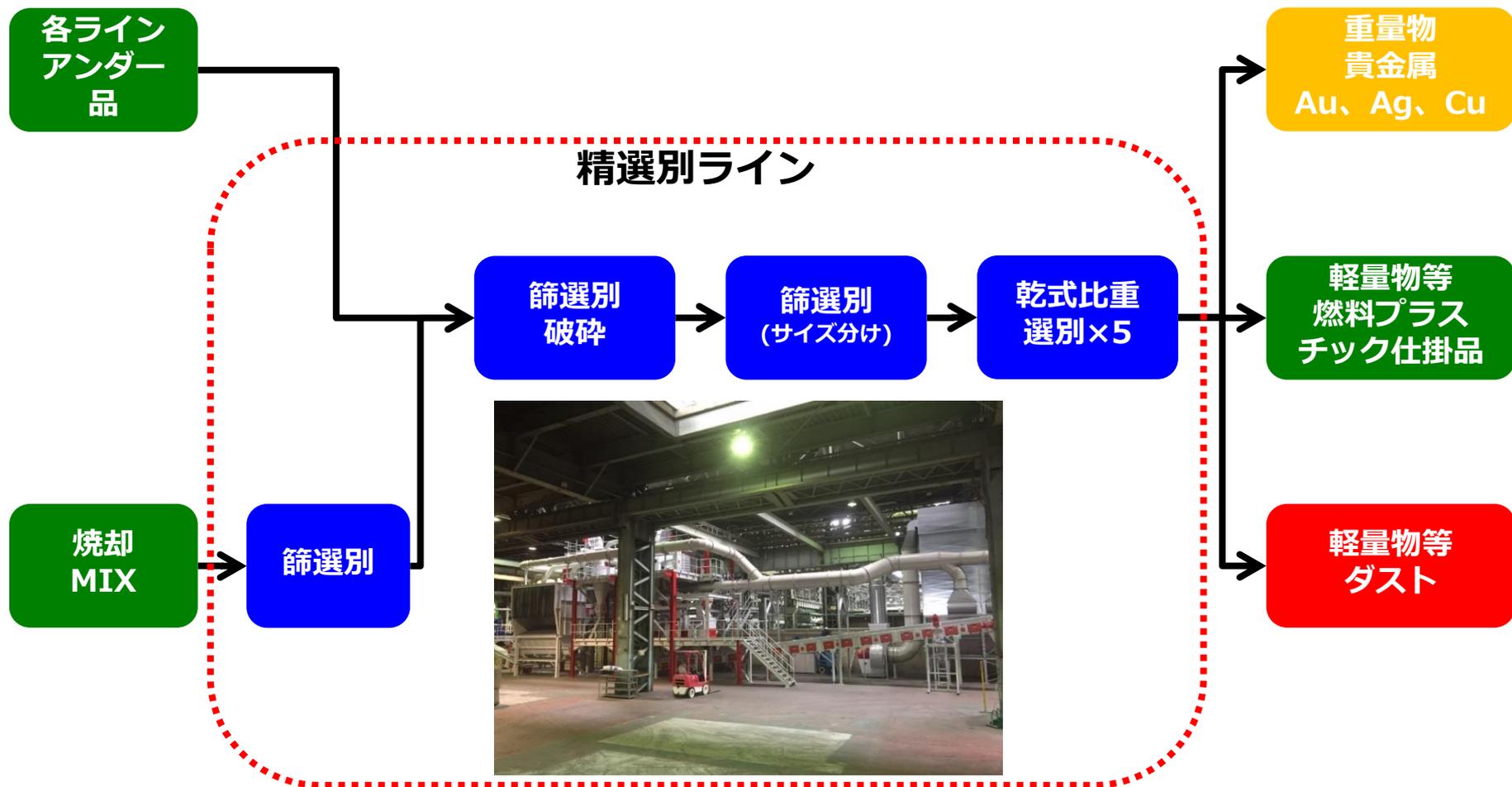
売上高 2 Q進捗率  
**53%**



ミックスメタル(金銀滓含有)

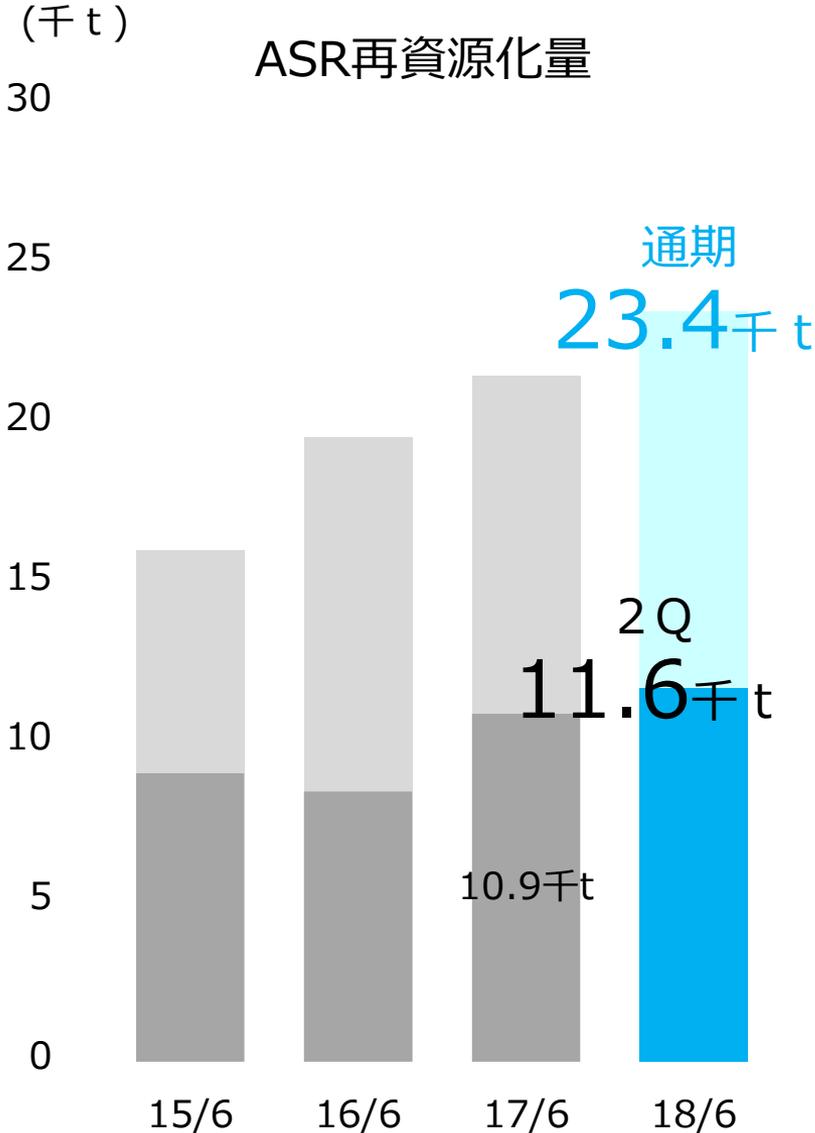
### ③金銀滓(Au、Ag、Pt、Pd、Cu)回収事業の拡大

戦略商材である焼却mix、破砕物アンダーサイズ品等の入荷増加に対応できる生産体制を確立し収益を拡大するため、精選別ラインを一新して新規増設。



生産能力の拡大と連続ライン化による生産効率向上により、原材料の入荷拡大に対応できる体制とする。

# ④ASR再資源化事業



他社ASR受入れ拡大  
混錬・混合する廃棄物集荷拡大

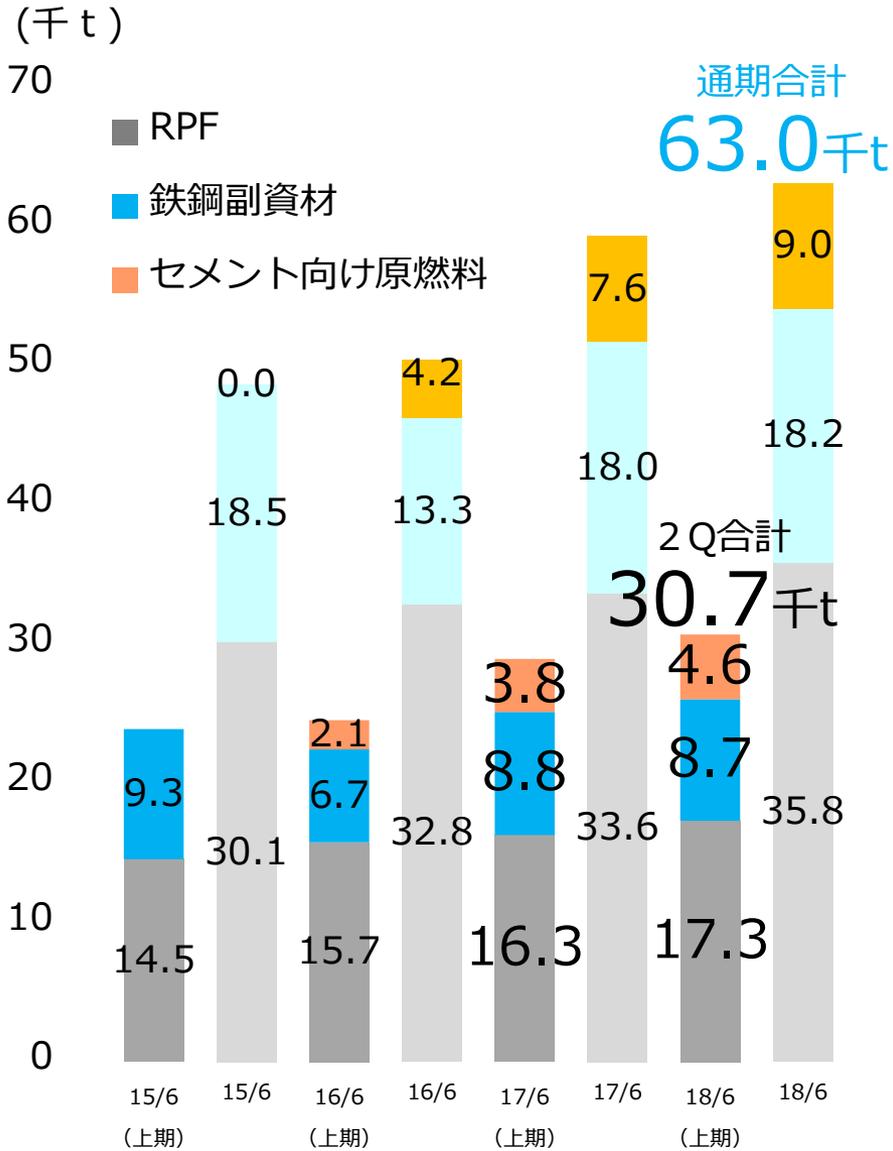
第2四半期再資源化量 **7%増**



クロダリサイクル再資源化施設

※ASRとは“Automobile Shredder Residue”の略で、自動車破碎残渣を指す。使用済み自動車からエアバッグ類、フロン類、ドア、エンジンなどの部品を取り外し、破碎（シュレッディング）して有用金属を回収した後に残ったもの。

# ⑤RPF・鉄鋼副資材等の製造販売事業の拡大

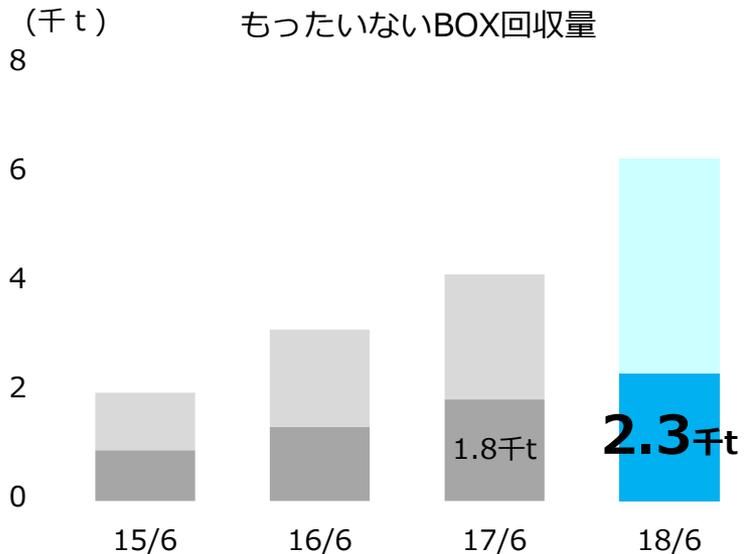


第2四半期実績出荷量 **6%増**

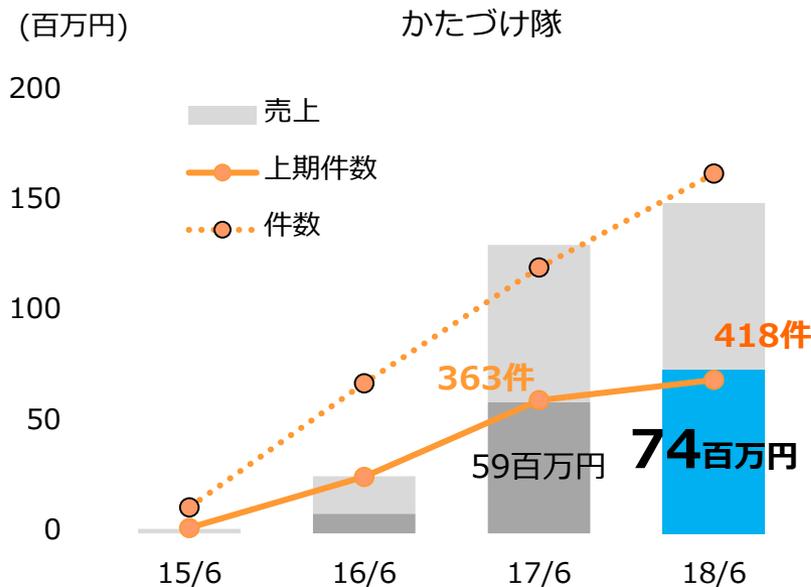


RPF

# ⑥ 動産撤去・処理サービス



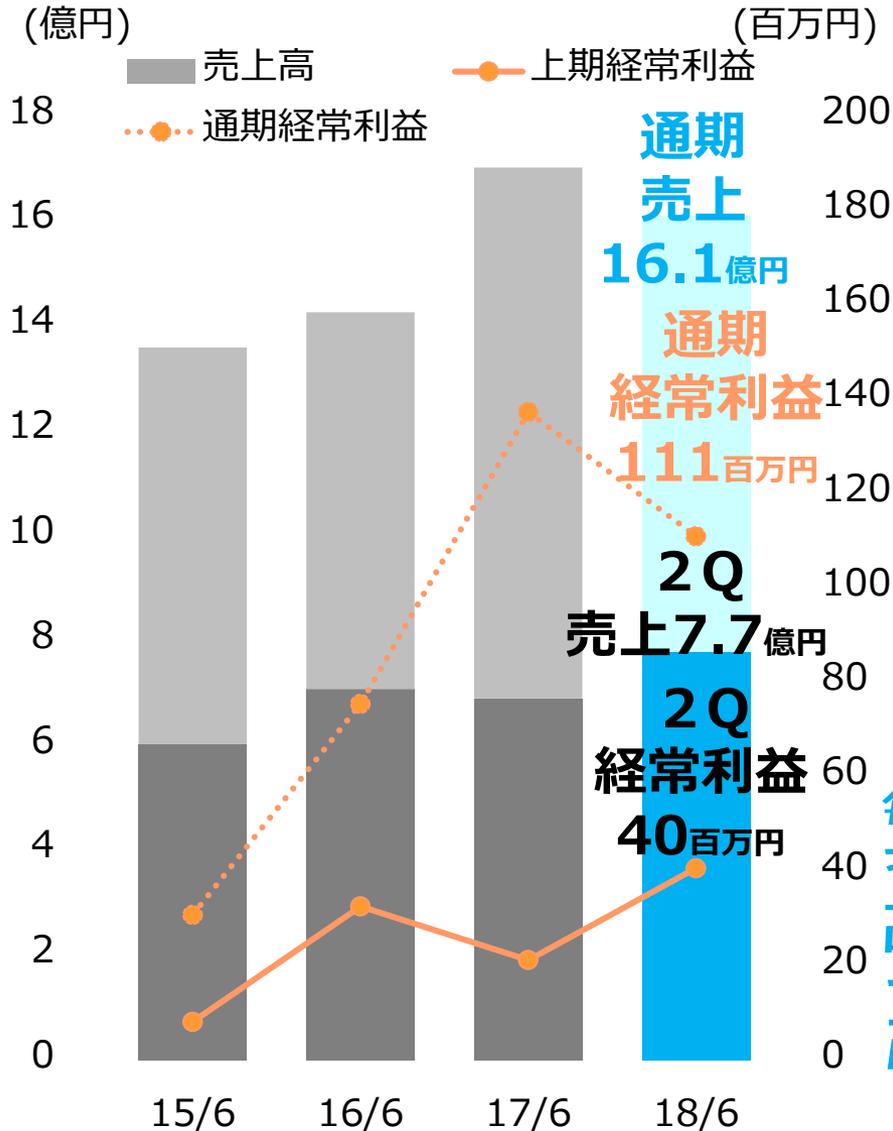
第2四半期実績回収量 **25%増**  
**もったいないBOX**  
**ステーション増設**  
**対応地域を拡大**



第2四半期実績  
**件数 15%増** **売上 25%増**

**今後、他社との協業**  
**により地域拡大**

# ⑦弾性舗装材市場拡大への取組み



前期大型案件獲得の反動で減収減益を見込むが安定的収益を確保していく

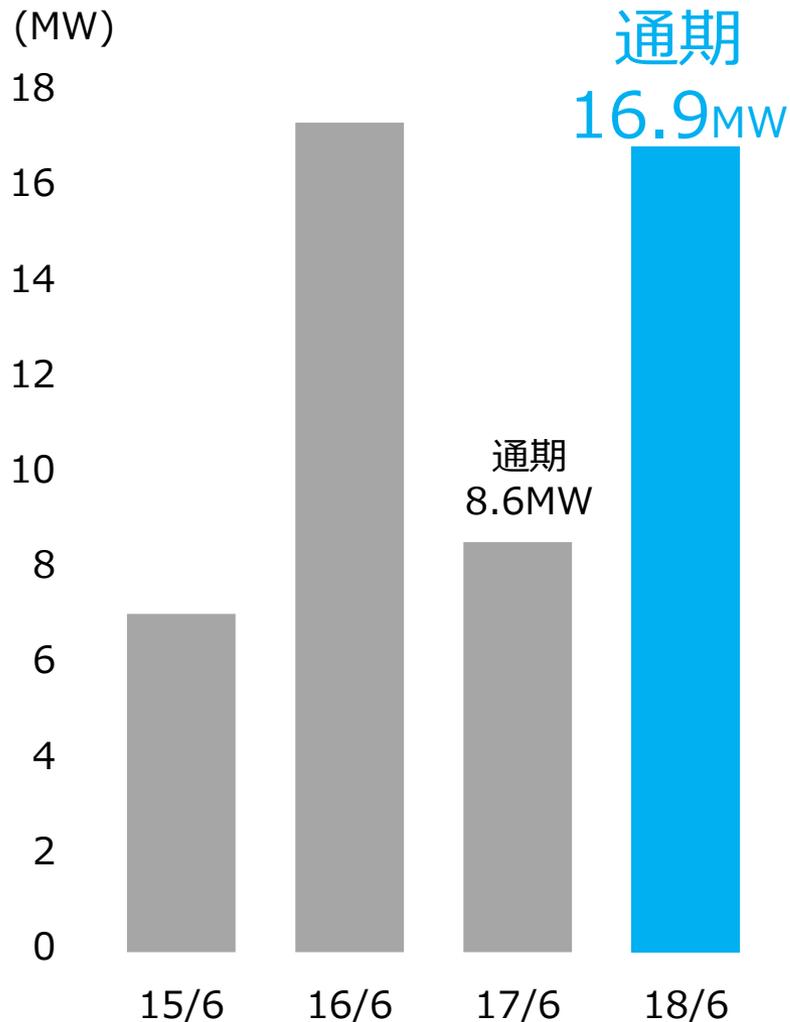


- 小型案件の獲得数増加をベースに大型案件受注営業実施
- 放射線遮蔽材特許取得を活用した提案営業実施
- 九州エリア強化（福岡）
- 踏切マット販売強化

繁忙期に向けて受注増  
弾性舗装材市場拡大に  
引続き注力

# ⑧太陽光発電所開発

太陽光発電 開発容量(高压)



高压開発案件に対する出資実行済み  
 加え特別高压案件 1 件開発中

第2四半期実績

特別高压案件1件計上



粗利ベース (高压+特高)

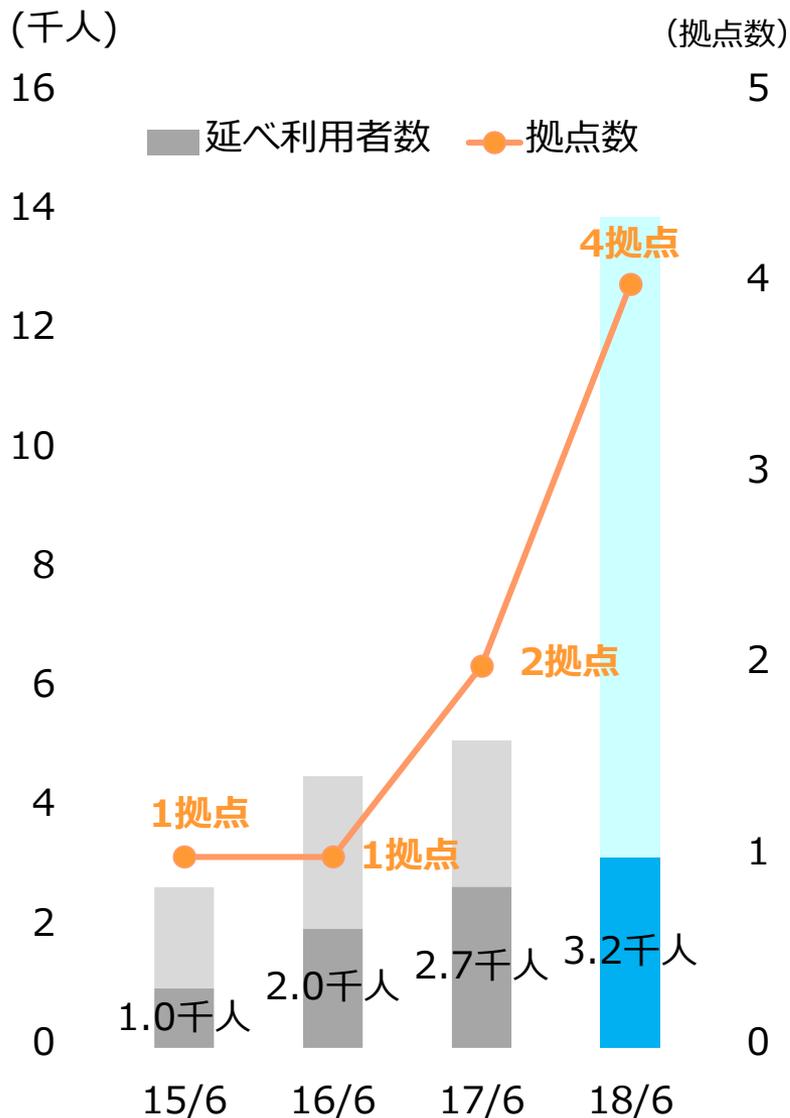
2017.6期 前期実績 2.9億円

2018.6期 当期見込み 4.2億円

+1.3億円

- ① 障がい者就労移行支援事業
- ② 木質系バイオマス燃料事業
- ③ 再生プラスチック製造事業
- ④ リチウムイオン2次電池リサイクル事業
- ⑤ デジタルサイネージ事業

# ①障がい者就労移行支援事業



- 既存拠点（松本）は安定収益計上
- 新拠点は投資先行（開設費用、人材採用、HP等）

2017年6月	ブライتعびす開所 (同12月他事業所に統合)
2017年9月	ブライتعさし小杉開所
2017年12月	ブライتعさいたま開所
2018年3月1日	エコミットあずみ野開所 予定

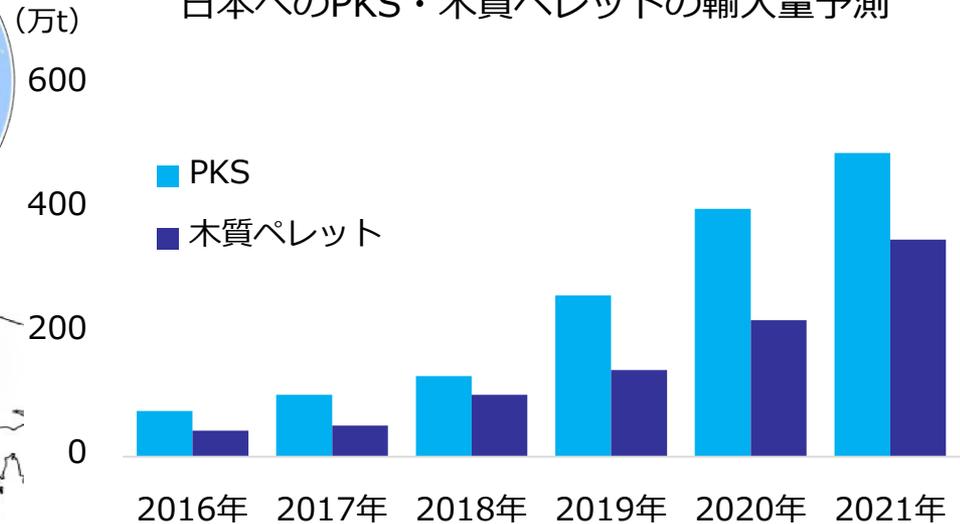
- 障がい者サテライトワークシステム構築  
障がい者の法定雇用率を充足したいニーズに対応  
既存のブライتع松本、埼玉に移転したアストコラボで事業を展開
- 新拠点での利用者は伸び悩む：  
⇒地域にあった営業を展開し利用者増を目指し、当初の目標を達成する。

## ②木質系バイオマス燃料事業

2016年10月	シンガポールにホールディングス会社「MINE BIOMASS SYNERGIES PRIVATE LIMITED」を合併で設立 (当社グループ出資比率 15%)
2017年6月	マレーシア クアantanに集荷ヤードを開設
2018年前半	インドネシアに集荷ヤード2拠点目を開設予定(ペカンバル)



日本へのPKS・木質ペレットの輸入量予測 (万t)



PKS輸入から開始し、ボリュームを増やしながら木質ペレットの可能性を模索

## ②木質系バイオマス燃料事業

<アクション>

東南アジア開拓

⇒上期に続き韓国、ベトナム、台湾向けの販売営業を実施  
東南アジア中心に販売戦略を立てる

<上期実績>

品種	向け先	数量
木質ペレット	韓国	10,000t
PKS	ベトナム	10,850t

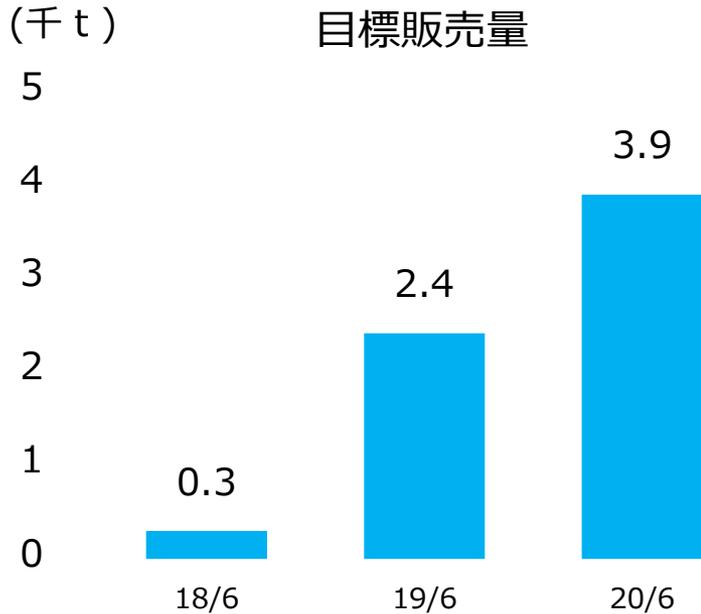
<下期目標>

品種	向け先	数量
木質ペレット	ベトナムー韓国間	50,000t
PKS	マレーシアーベトナム間	10,000t
	マレーシアー台湾間	6,000t
	日本国内販売	16,000t

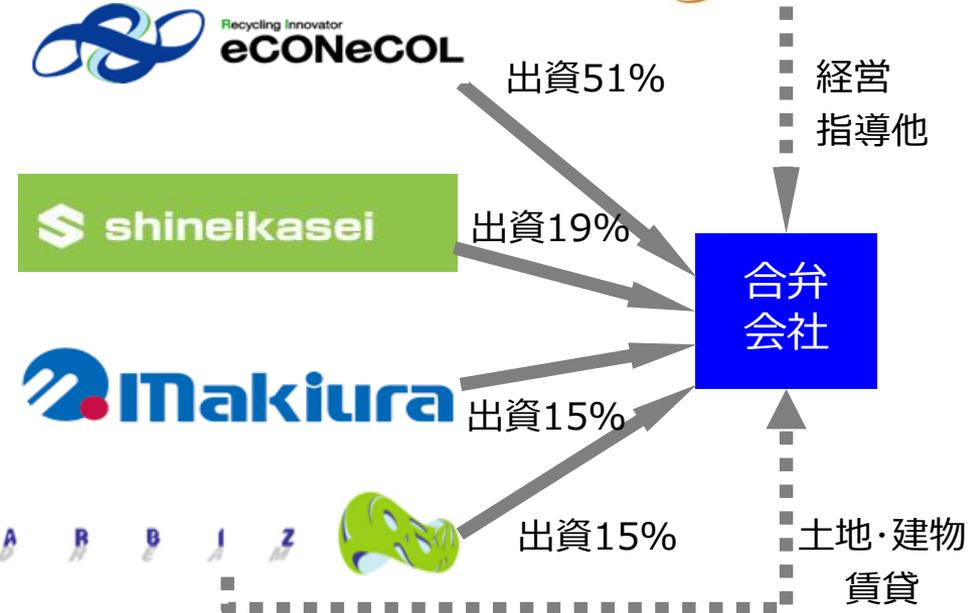
通期目標 扱い量 10万トン 売上 10億円  
限界利益 30百万円

# ③再生プラスチック製造事業

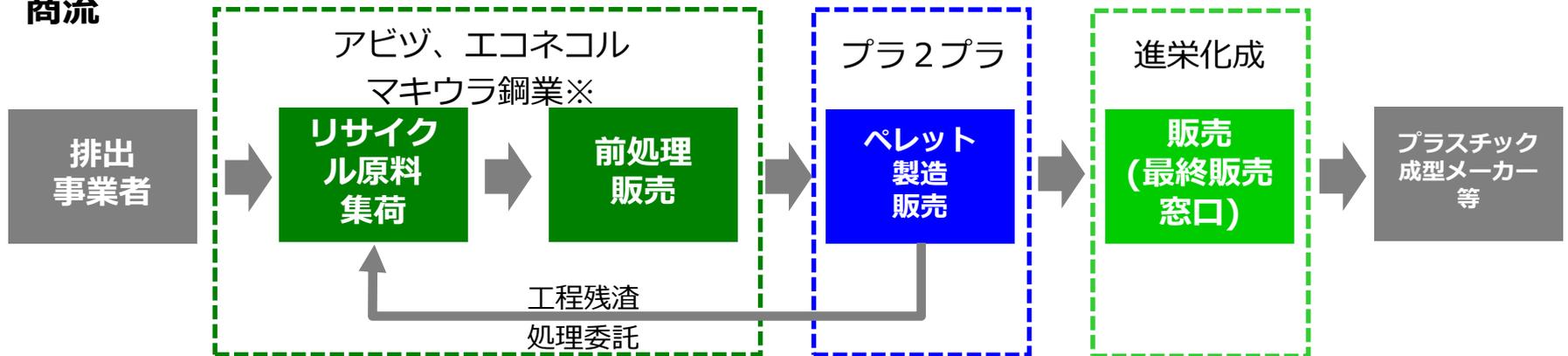
2017年7月 「株式会社プラ2プラ」 設立  
 2018年4月 設備設置し本格稼働予定



## 事業スキーム

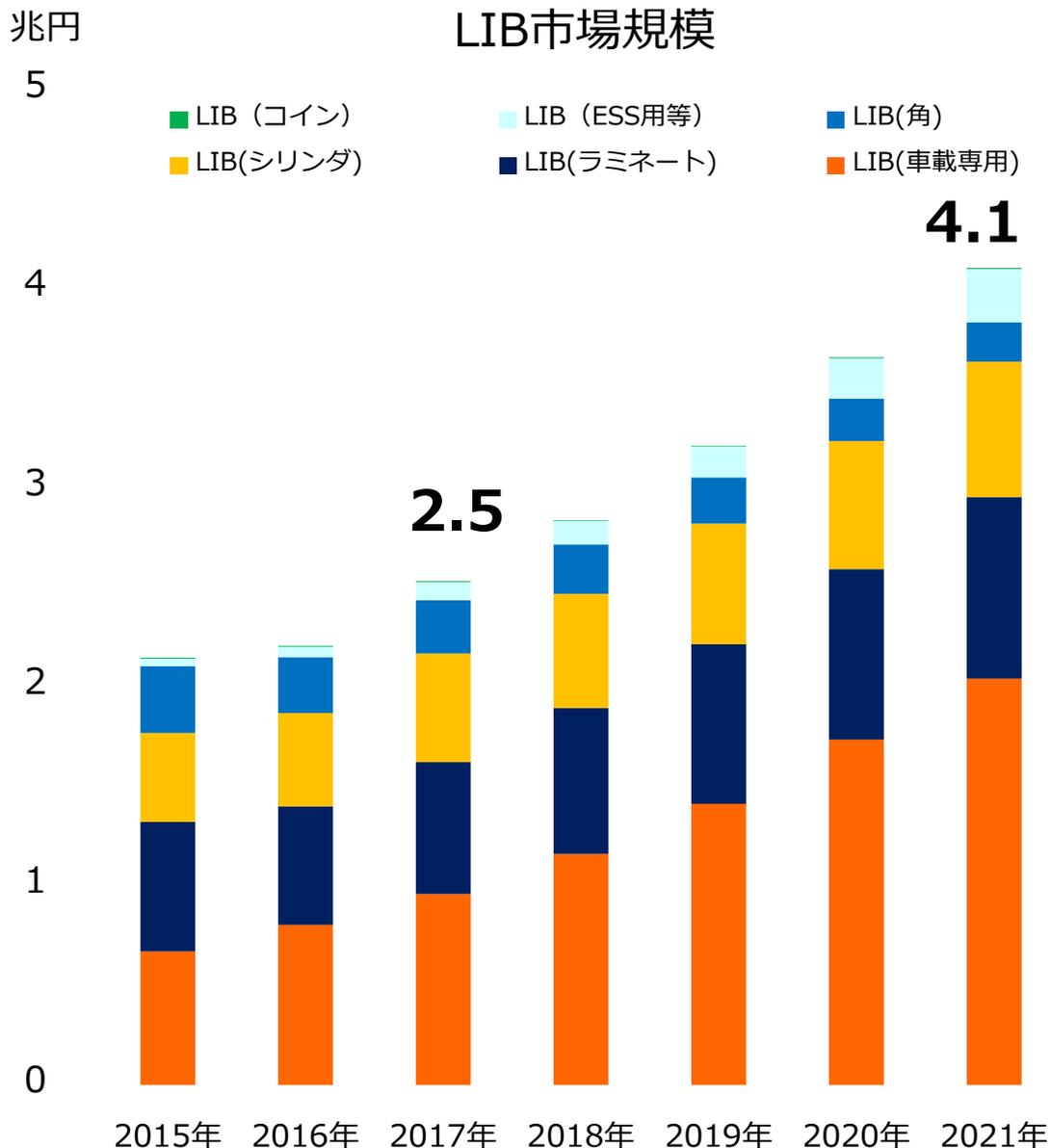


## 商流



※株エコネコル、(株)アビツ、マキウラ鋼業(株)の三社は、A S R再資源化認定施設を保有する会社。

# ④ リチウムイオン2次電池リサイクル事業



EV、再エネ等の定置式電池需要急増により

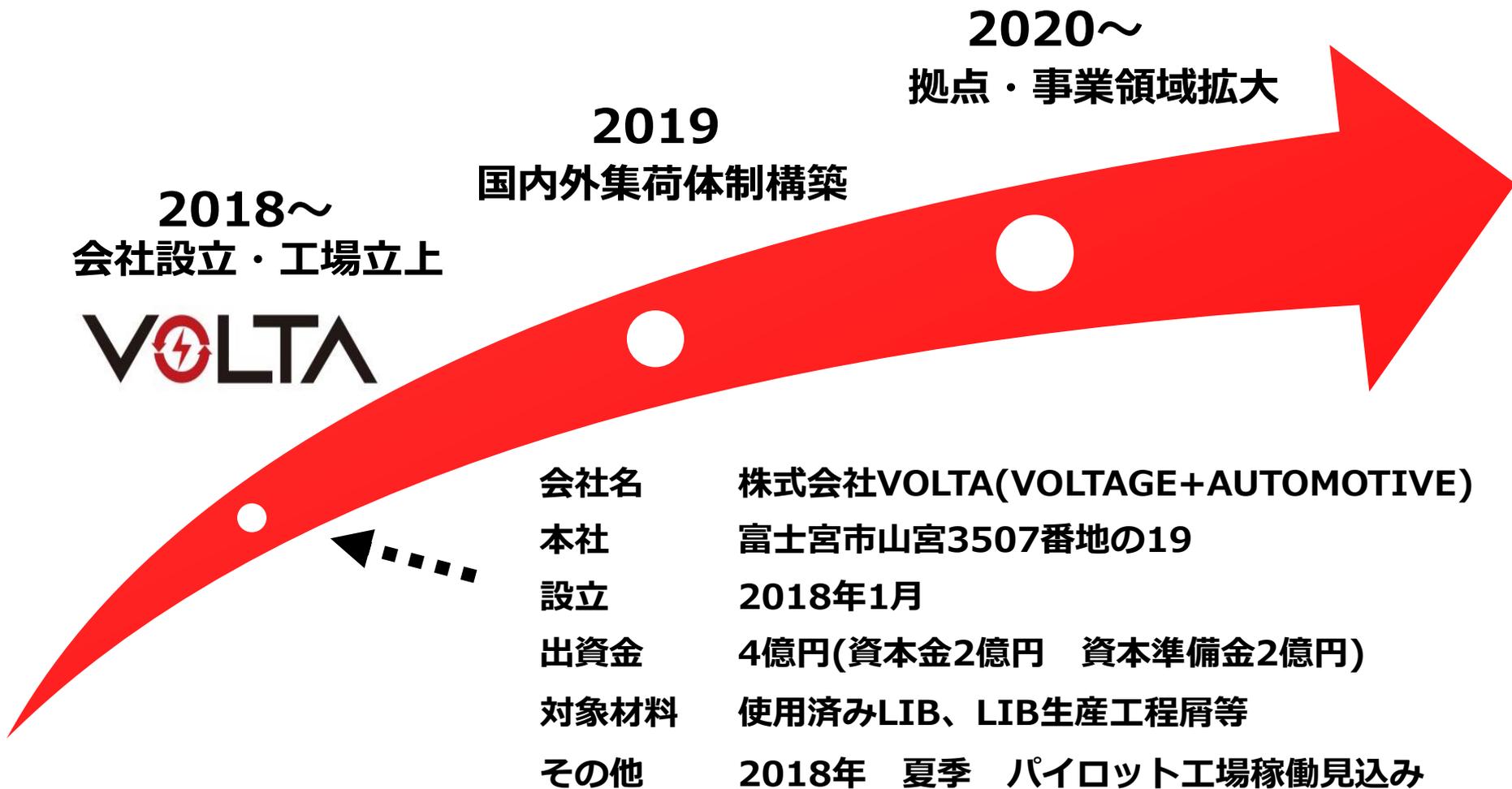
市場規模 **62%**増  
(2021年/2017年対比)

**=材料需要逼迫**



**リサイクル必須  
ビジネス機会到来**

# ④リチウムイオン2次電池リサイクル事業



物理選別技術×静脈物流網×資源貿易能力  
グループリソースを結集

# ④リチウムイオン2次電池リサイクル事業 生産フロー LIB(電池単体)



原材料



放電



銅、アルミ(篩上)



プラスチック分離

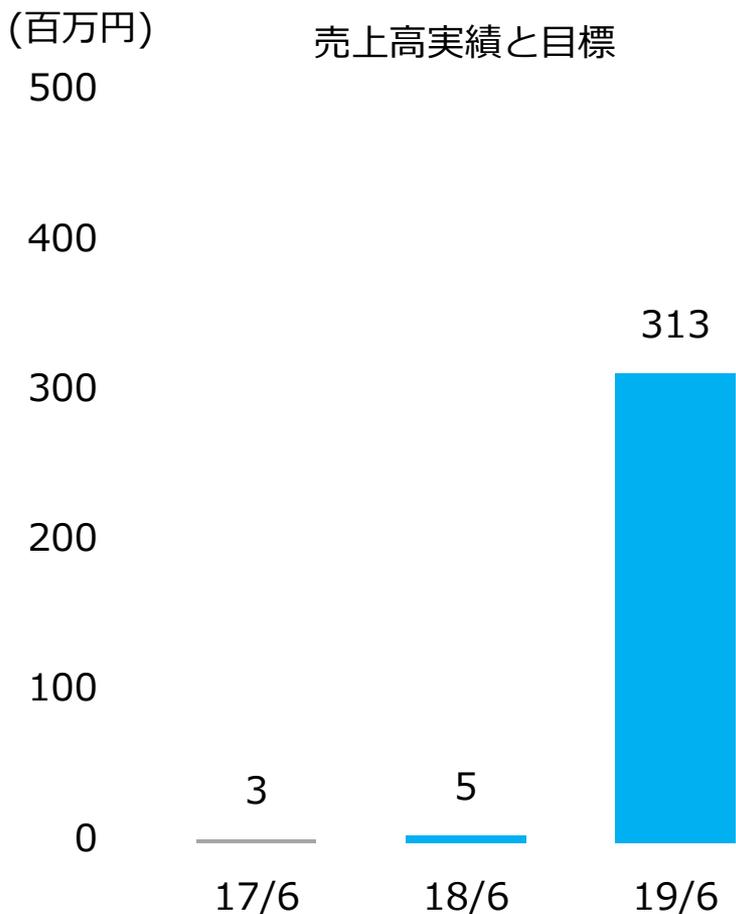


Black sand(篩下)

# ⑤ デジタルサイネージ事業

## TOPICS

- ▶ 日立システムズによる保守及び販売体制が営業マンの商品勉強会を経て4月を目処に本格化する。



KIOSK



朝日スタンド



E3本社 (京橋) ショールーム



ULTRA STRETCH



Glass Wall



デジタルサイネージジャパン2017  
DSJ-2017BEST of SHOW AWARD  
準グランプリ受賞

## CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）のスコアリングパートナーとしてコンサルティングを実施



CDPとは・・・  
気候変動対応等に関する最も著名な企業評価制度  
世界の企業6,000社が評価対象  
企業価値を図る重要な指標（投資家が活用）

- ・ 大手企業からのCDPスコアリングの依頼を多数受注  
⇒よりよいスコアを出すためのコンサルティングを実施
- ・ CDPのスコアリングから、環境コンサルティングを継続して受注

### (受注例)

自動車会社	環境経営支援
製薬会社	環境経営顧問、KPI、目標、アクションプラン案作成支援
製鉄会社	環境報告書作成支援、CDP評価向上支援
セメント会社	カーボン戦略策定のための調査
電気電子会社	CDP評価向上支援
IT会社	気候変動ビジネスへの影響と対応方法に係るセミナー実施

## TOPICS

### ■ NEDO実証事業採択

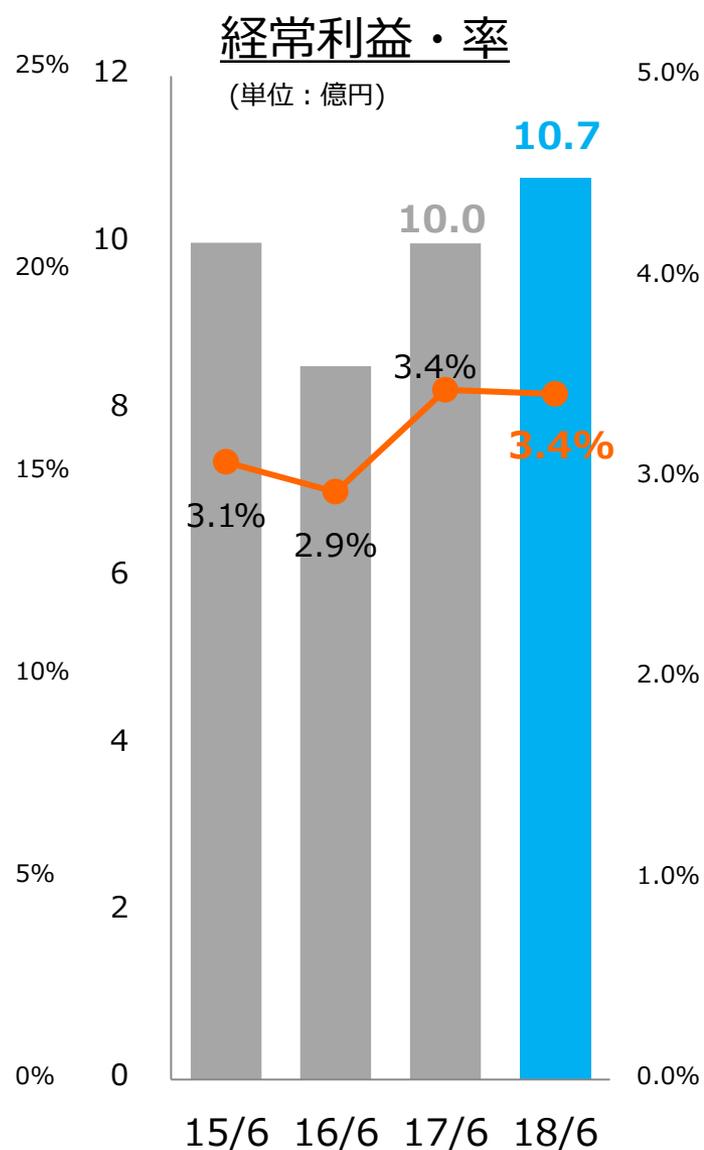
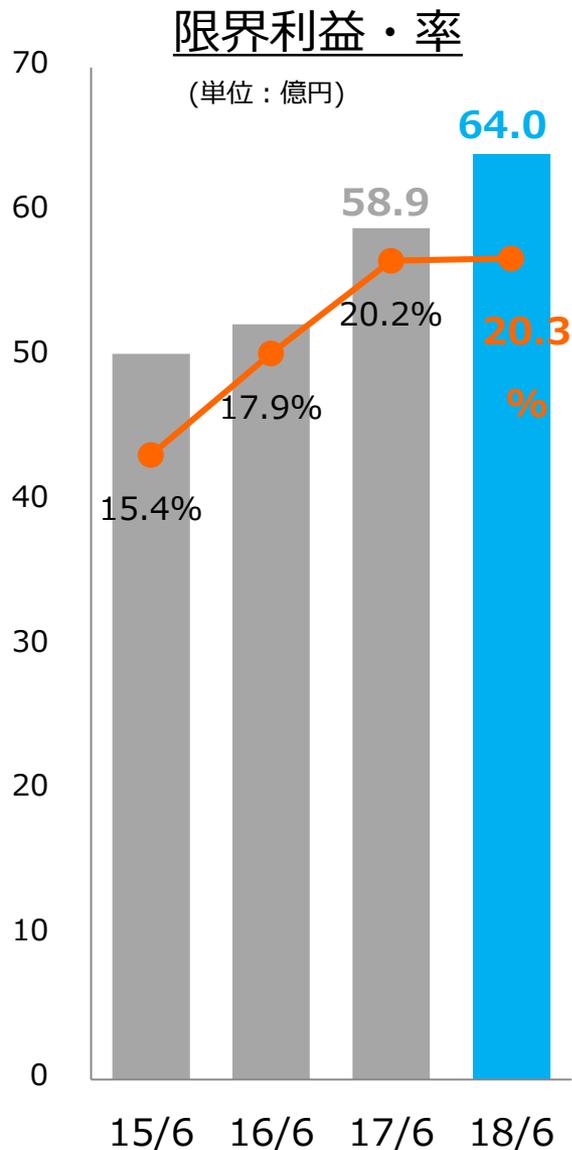
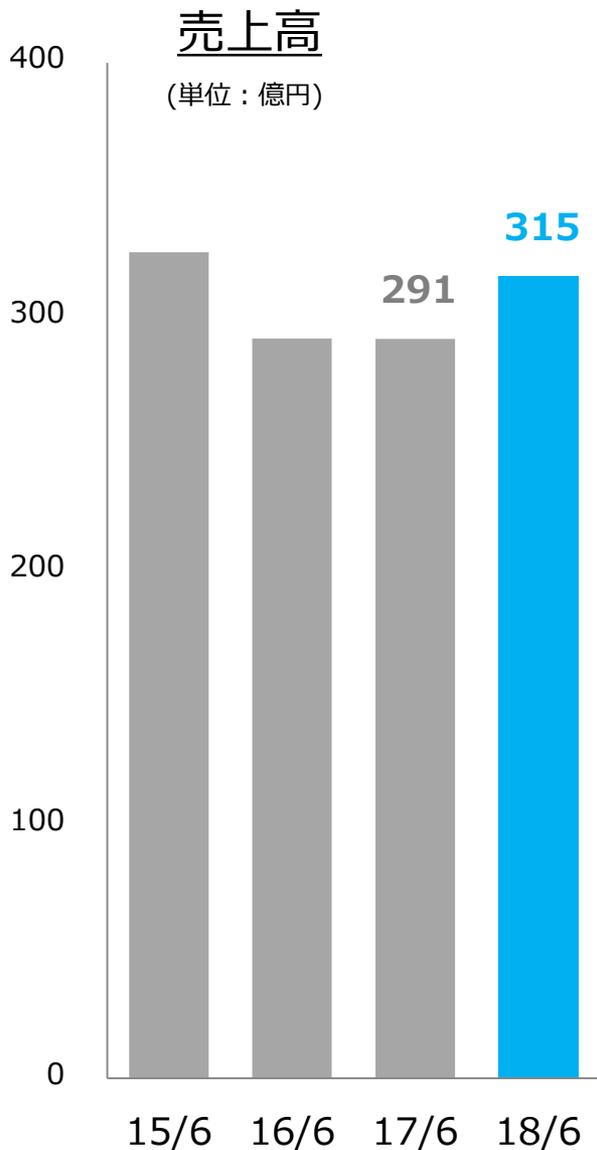
平成29年度「アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業」においてタイ王国バンコクにおける電気・電子機器廃棄物の国際循環リサイクルシステム実証事業採択

- ⇒ タイ国内での電気・電子機器回収処理の制度設計支援と環境汚染問題の解決を目指す  
アジアにおけるリサイクルモデルを確立し海外での新たな事業展開へ



- ⇒ 平成30年2月末日でFS調査フェーズが終了予定。  
その後、同年3月にステージゲート委員会で本事業の実現可能性が承認された場合、実証フェーズへ移行し、タイ王国へのプラント導入が開始

# 連結業績予想



---

## 3. 会社概要

# グループ概要



本 社	静岡県富士宮市山宮3507番地の19
代 表 者	代表取締役社長 佐野富和
設 立	2010年5月
グ ル ー プ 会 社	連結子会社13社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従 業 員 数	単体25名(連結372名) ※2017年12月末

子 会 社	(株)エコネコル	静岡県 富士宮市	金属・プラスチックリサイクル及びリサイクル資源等の輸出版売
	(株)3WM	愛知県 名古屋市	中古車・中古車部品等の輸出及び三国間貿易、物流代行 子会社 海外現地法人3社
	(株)クロダリサイクル	北海道 函館市	金属・プラスチック及び家電等のリサイクル
	(株)しんえこ	長野県 松本市	金属・プラスチック及び小型家電等のリサイクル
	(株)アストコ	東京都 中央区	障がい福祉サービス
	(株)E3	東京都 中央区	再生可能エネルギー発電開発、デジタルサイネージ販売他
	(株)東洋ゴムチップ	群馬県 前橋市	ゴムリサイクル及びゴム製品製造・販売
	(株)ブライイトイノベーション	東京都 中央区	環境コンサルティング
	(株)プラ2プラ	愛知県 名古屋市	再生プラスチック製造
	(株)VOLTA	静岡県 富士宮市	リチウムイオン2次電池等の電池リサイクル事業
関 連 会 社	(株)アビツ	愛知県 名古屋市	【持分割合49%】 金属・プラスチックリサイクル及び自動車リサイクル 中古車オークション最大手の(株)ユー・エス・エスとの合併
	(株)富士エコサイクル	静岡県 浜松市	【持分割合20%】 家電リサイクル 家電大手の(株)富士通ゼネラルとの合併

# 拠点

## 【流通拠点】

- ★鉄スクラップヤード (10箇所)
- ★非鉄倉庫 (3箇所)
- ★自動車ヤード (3箇所)



## 【加工拠点】 (8箇所)

函館、松本、富士宮、清水、  
浜松 (2箇所)、名古屋、群馬

## 【海外拠点】

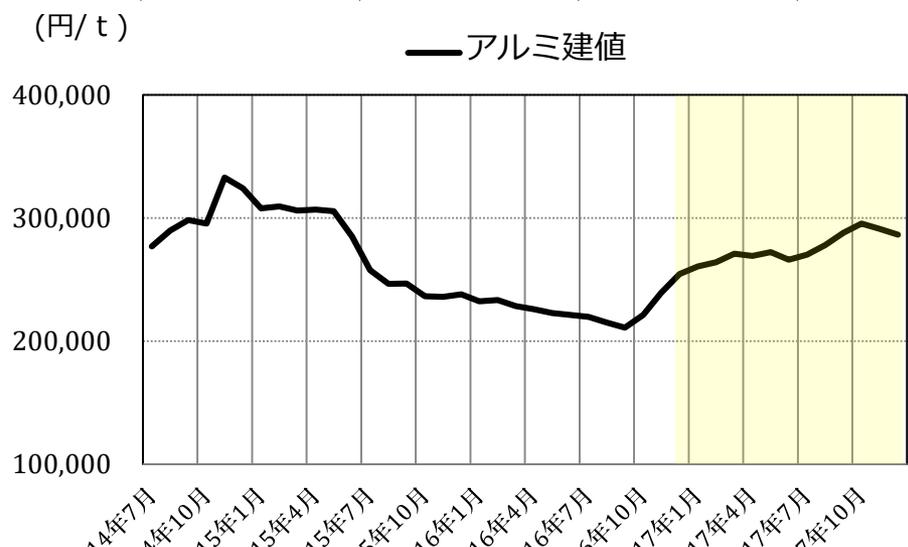
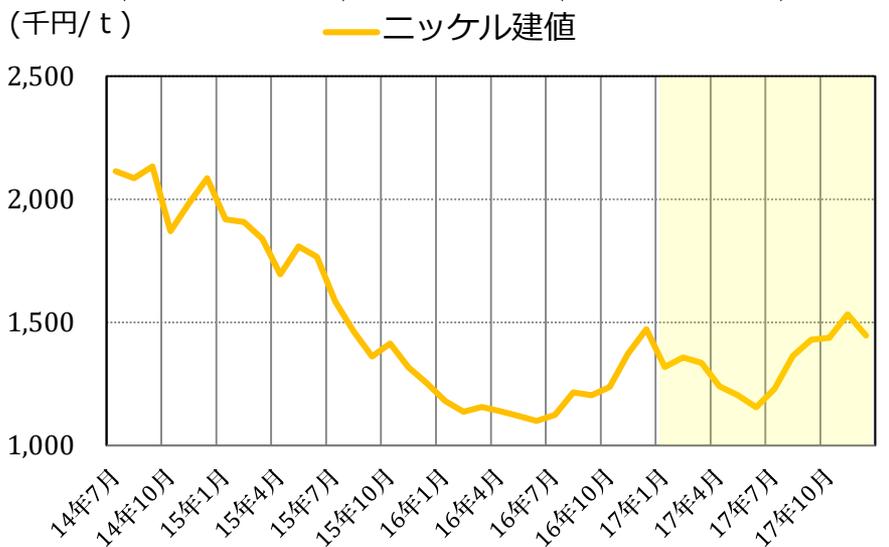
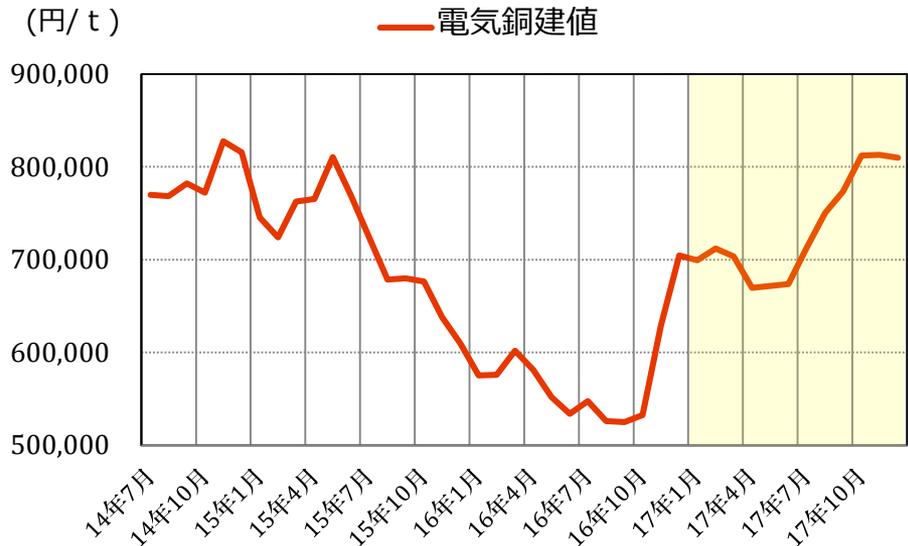
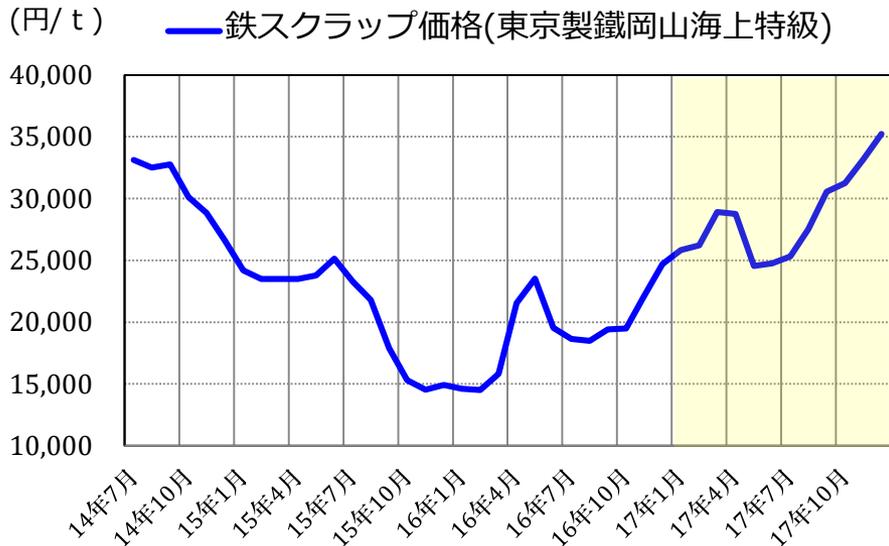
- 1 UAE現地法人 (株) 3 WM海外子会社
- 2 チリ現地法人 (株) 3 WM海外子会社
- 3 ウガンダ現地法人 (株) 3 WM海外子会社
- 4 ホーチミン駐在事務所 (株) エコネコル海外事務所
- 5 マレーシア集荷ヤード  
(合併会社 Mine Biomass Synergies)



---

## 4. 参考データ

# 相場推移①

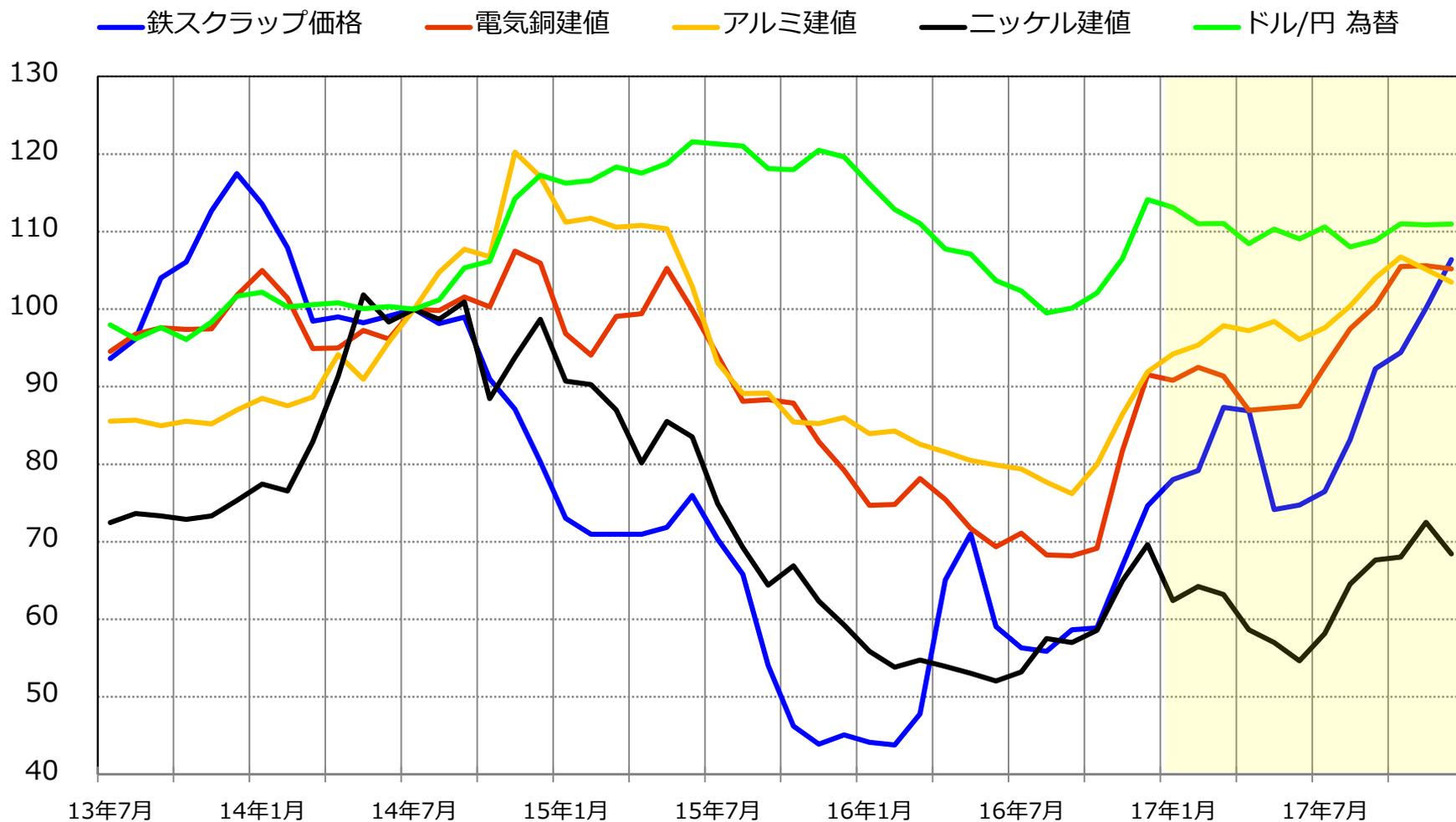


(出所) 東京製鐵(株)、(株)日本経済新聞社

(出所) 一般社団法人日本電線工業会、(株)日刊産業新聞社

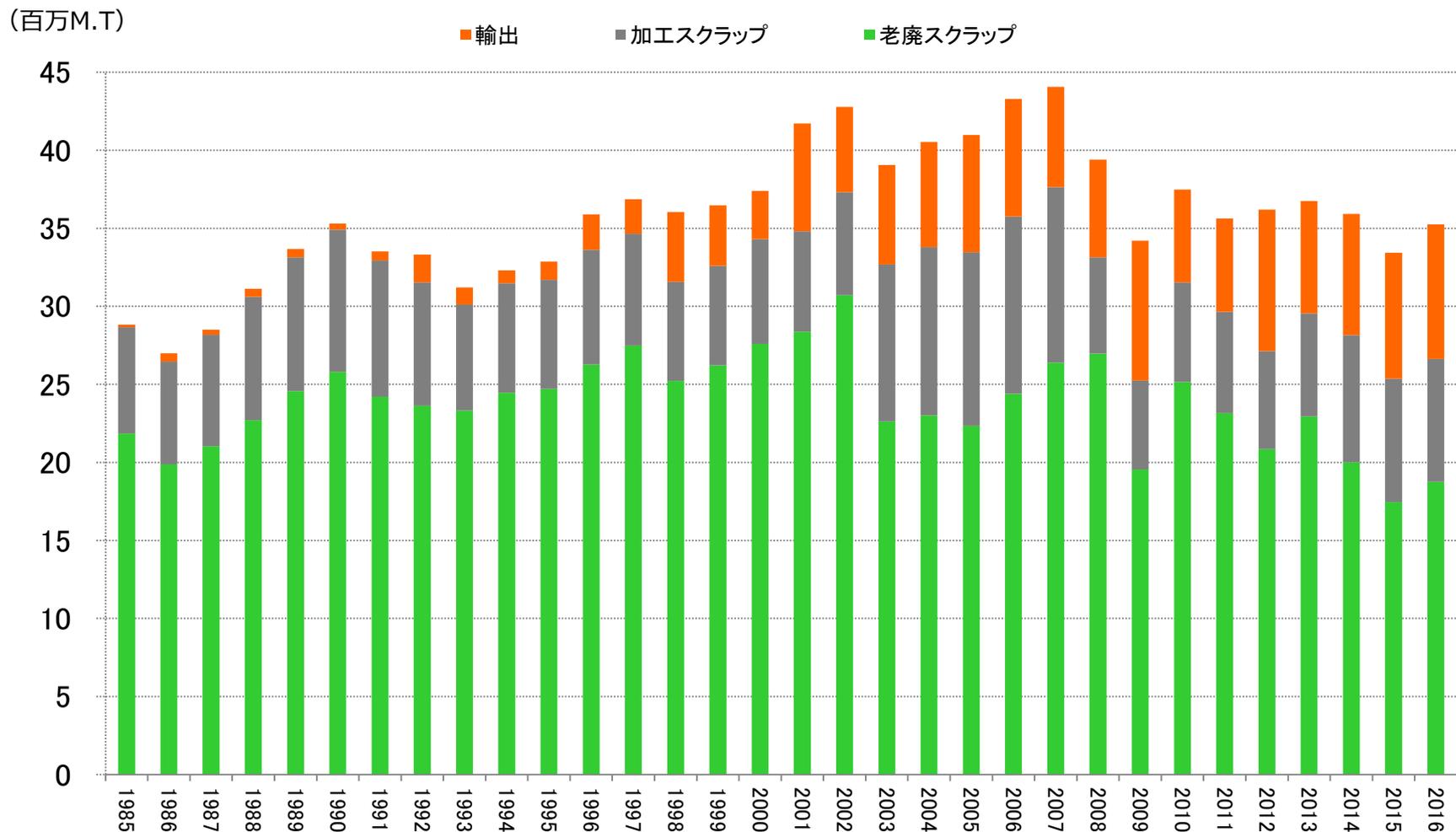
# 相場推移②

## 金属相場の推移 (INDEX推移 2014年7月を100とする)



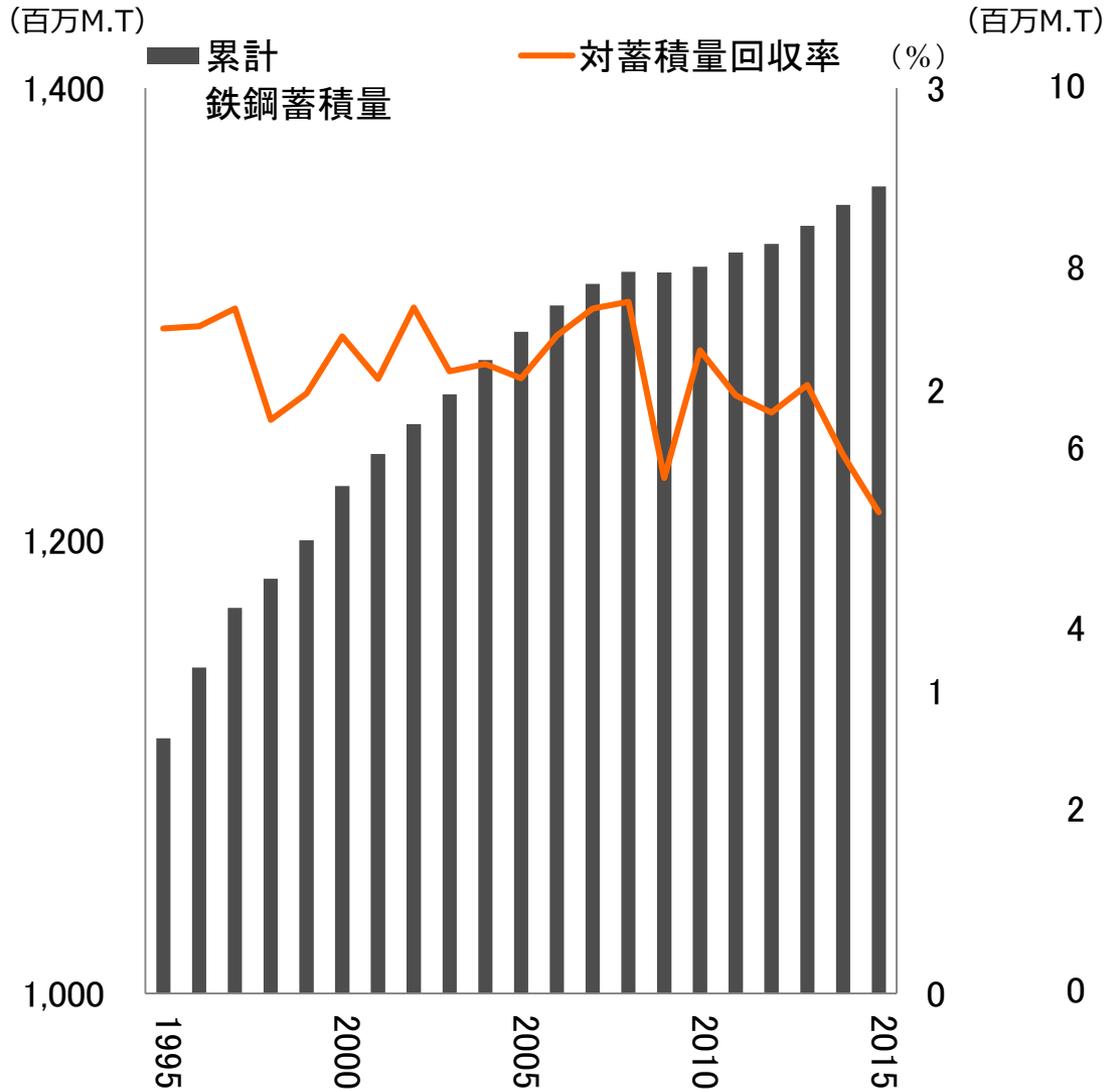
# 国内鉄スクラップのマーケット①

## 鉄スクラップ発生量推移

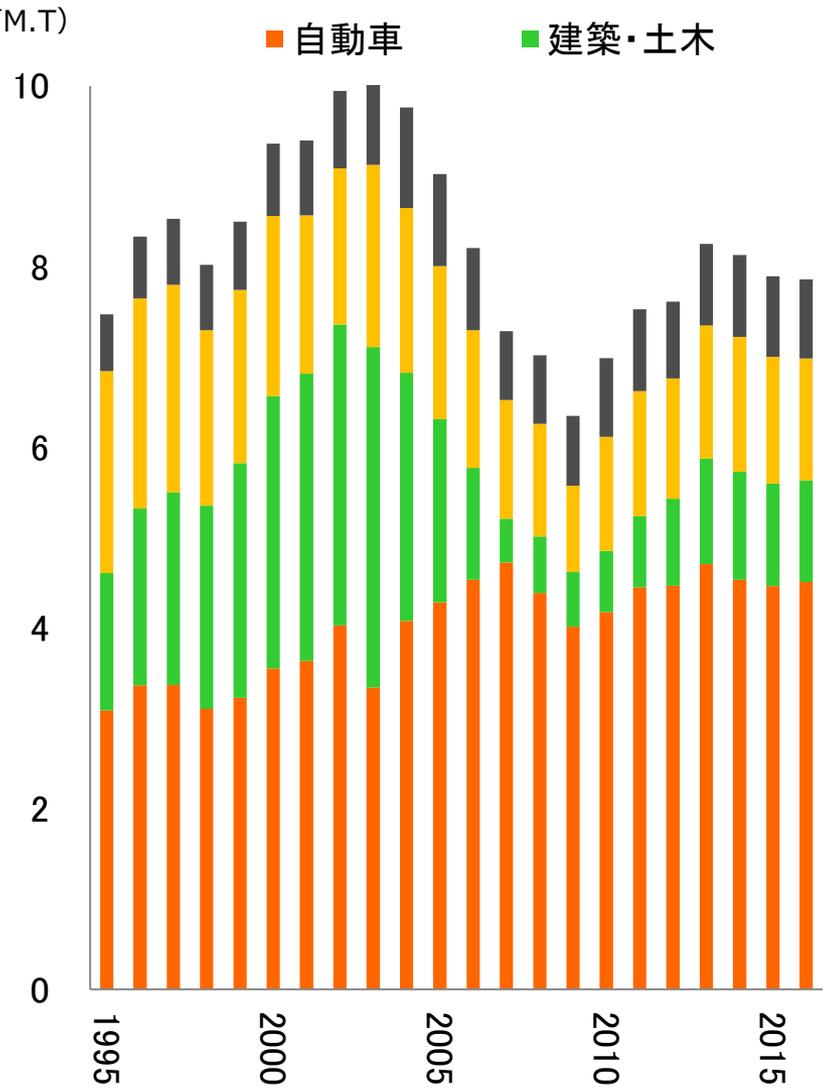


# 国内鉄スクラップのマーケット②

## 鉄鋼備蓄量と回収率推移



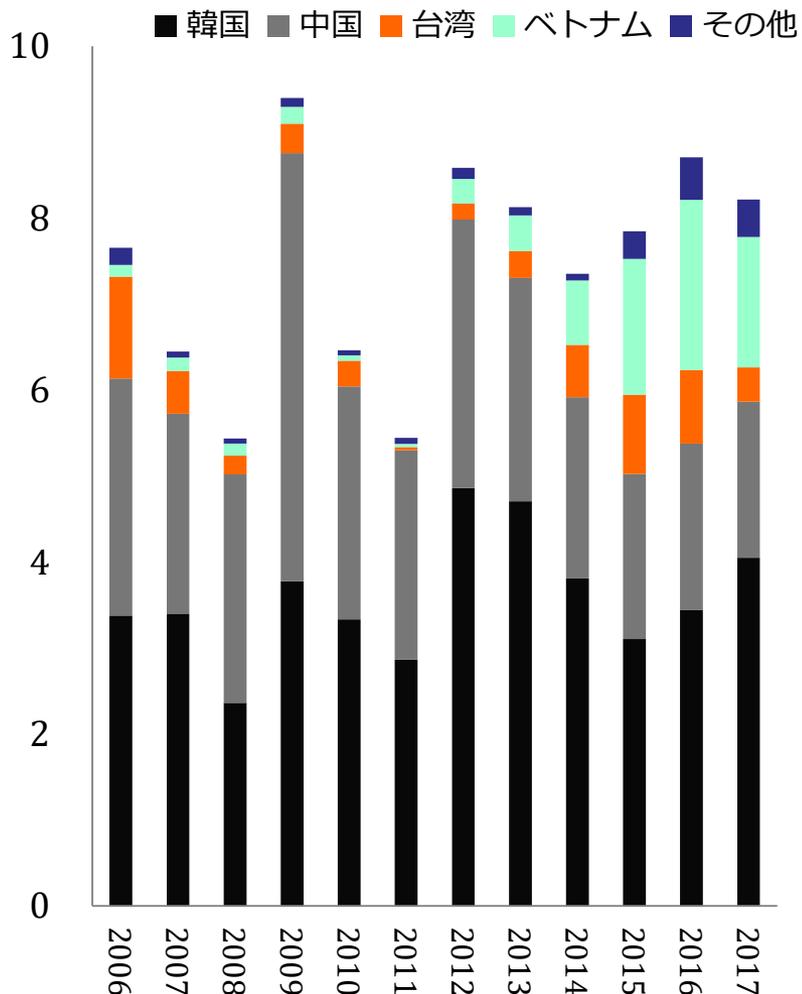
## 加工スクラップ発生量推移



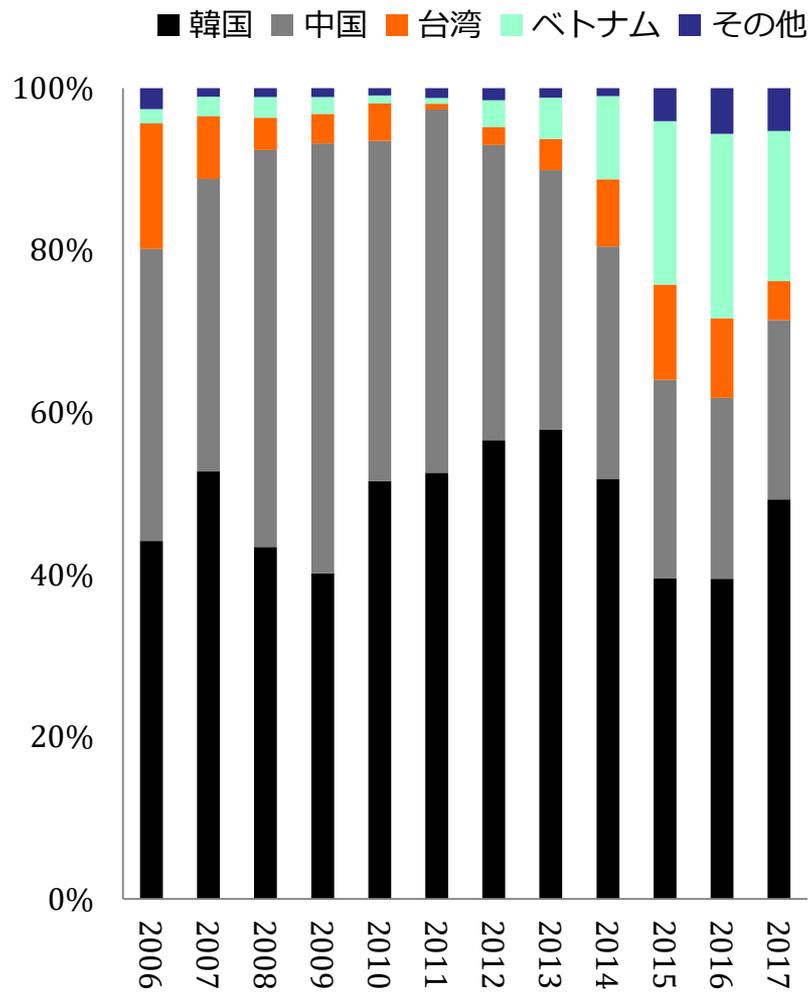
# 輸出鉄スクラップのマーケット

## 鉄スクラップ輸出量推移

(百万M.T)



## 鉄スクラップ輸出シェア推移



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 58-0521

URL <https://www.envipro.jp>